

第七十三回 帝國議會 臨時租稅增徵法中改正法律案外七件委員會議錄(速記)第十八回

	會議	
	昭和十三年三月十日(木曜日)午前十時五十	
	分開議	
出席委員左ノ如シ		
委員長 高橋熊次郎君		
理事岩瀬 亮君 理事西村金三郎君	津倉 亀作君 川副 隆君	
理事東條 貞君 理事玉野 知義君	小串 清一君 板谷 順助君	
理事河野 審君 前田房之助君	稻田 直道君 山川賴三郎君	
川崎 克君 渡邊玉三郎君	森田 福市君 坂田 道男君	
勝 正憲君 矢野庄太郎君	曾木 重貴君 片山 哲君	
出席國務大臣左ノ如シ	三木 武夫君 馬場 元治君	
大藏大臣 賀屋 興宣君	元治君	
	出席政府委員左ノ如シ	
	大藏政務次官 太田 正孝君	
	大藏參與官 中村三之丞君	
	大藏省主計局長 谷口 恒二君	
	大藏書記官 松隈 秀雄君	
付其ノ補闕トシテ中島彌團次君及稻田直道 君ヲ議長ニ於テ選定セリ	同日委員中村梅吉君及木本主一郎君辭任ニ 相續	
臨時租稅增徵法中改正法律案(政府提出)	本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ	
登錄稅法中改正法律案(政府提出)	酒造稅法中改正法律案(政府提出)	
得稅法ノ施行ニ關スル件(政府提出)	酒精及酒精含有飲料稅法中改正法律案 (政府提出)	
支那事變特別稅法案(政府提出)	麥酒稅法中改正法律案(政府提出)	
臨時利得稅法中改正法律案(政府提出)	大正九年法律第十二號中改正法律案(所 得稅法中改正法律案(政府提出))	
臨時租稅措置法案(政府提出)	支那事變特別稅法案(政府提出)	
日滿國稅徵收事務共助法案(政府提出)	麥酒稅法中改正法律案(政府提出)	
昭和十二年法律第八十四號中改正法律案	酒酒精及酒精含有飲料稅法中改正法律案 (政府提出)	

付託議案  
臨時租稅增徵法中改正法律案(政府提出)  
所得稅法中改正法律案(政府提出)  
相續稅法中改正法律案(政府提出)  
大正九年法律第十二號中改正法律案(政府提出)  
酒酒精及酒精含有飲料稅法中改正法律案  
(政府提出)

支那事變特別稅法案(政府提出)  
麥酒稅法中改正法律案(政府提出)  
臨時利得稅法中改正法律案(政府提出)  
臨時租稅措置法案(政府提出)  
國稅徵收事務共助法案(政府提出)  
昭和十二年法律第八十四號中改正法律案(政府提出)  
支那事變ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲公債發行ニ關スル  
件(政府提出)  
臨時租稅措置法案(政府提出)  
國稅徵收事務共助法案(政府提出)  
昭和十二年法律第八十四號中改正法律案(政府提出)  
支那事變ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲公債發行ニ關スル  
件(政府提出)  
關東局朝鮮總督府、臺灣總督府及  
收入ノ一部ニ相當スル金額等ヲ臨  
時軍事費特別會計ニ繰入ルコト  
昭和十三年法律一般會計歲出ノ財源  
支那事變ニ關スル為公債追加發行ニ關スル  
件(政府提出)  
內ニ於テ募集シタル外國債ノ  
支那事變特別稅法案(政府提出)

(支那事變ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲  
公債發行ニ關スル件)(政府提出)

關東局、朝鮮總督府、臺灣總督府及樺太廳ノ各特別會計ニ於ケル租稅收入ノ一部

二相當スル金額等ヲ臨時軍事費特別會計ニ繰入ルルコトニ關スル法律案(政府提出)昭和十三年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債追加發行ニ關スル法律案(政府提出)

本邦内ニ於テ募集シタル外國債ノ待遇ニ  
關スル法律案(政府提出)

○西村委員長代理 開會致シマス、今日ハ  
委員長ガ御差支ガアリマスノデ、私ガ代理

致シマス、通告順ニ依ツテ質問ヲ許シマ  
ス——山川君ハ大臣ニ對スル御質問デスカ

○山川委員 大臣ハ御差支ガアルヤウデス  
カラ政府委員デ宜シイデスガ、主税局長ハ

御見工ニナリマセ又力

○西村委員長代理　主税局長ハ直グ見エル  
リウデス、暫ク御待チ下サイ

○山川委員 私ハ大藏大臣ニ御質問申上ゲ

又ガアル模様ニ承リマシタノデ、主税局長  
其他政府委員ノ御方ニ質疑ヲ致シマシテ御  
合辯ヲ願ヒマス譯デゴザイマスガ、最後ノ  
結論ニ至リマシテハ、即チ十項目ナラ十項

目ノ全部ヲ一遍ニ大藏大臣カラ御答辯ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、ソレハ大藏大臣カラハ固メテ簡単ニ願ツタラソレデ宜イ譯デス、其事ハ一ツ政府委員カラ大藏大臣御傳ヘラ願フ、斯ウ云フ風ニ御願致シマス、先ヅ御尋致シタインハ、所得稅ノ田畠ノ課稅基礎率デス、ソレハ從來田畠ノ所稅査定ニ付テ、所得發生ノ基礎ヲ稅務署デハ反別ヲ用ヒテ居ル、一反歩何圓ト云フヤウナ風ニ、其村ノ田地ノ模様ニ依ッテ假定ヲシテ算出シテ居ルノデアリマスガ、同ジ一ツノ稅務所管内ニ於キマシテモ、各、其村ニ依ッテ收穫ニ非常ナ大差ガアルノデアリマス、尤モソレゞ收穫ノ多イ所ト少イ所トニ依ッテ率ハ變ヘラレテ居リマスケレドモ、凡ソ反別ハ惡イ所デ一反二十圓ナラ二十二圓、良イ所ハ二十五圓ナリ六圓ト云フヤウナ風デ、其差ト云フモノハ、同ジ管内デアリマシタナラバ七八圓位ノ差シカ付イテ居反別、反當リ算出法ヲ用ヒテ居ラレルノデト云フコトヲ豫テカラ認メラレテ、元ト地價デアッタモノヲ今度ハ土地賃貸價格ニ改メラレタノデアリマス、物件稅デアル所ノ田畠租借デサヘモ賃貸價格ヲ採用サレルコト

ニ改正サレタノデアリマスルカラ、収益税ト言ヒマスカ、人税ト言ヒマスカ、其所得稅ヲ反別稅其儘ニシテ置イテ之ニ賦課セラレマスルコトハ不合理デアルトスウ思フノデアリマス、デアリマスルカラ、是ハ賃貸價格ノ基準制ニ改メラレルコトガ、最モ公平且ツ均衡ヲ得ルモノデアルト信ズルノデアリマス、之ニ對スル政府ノ御所見ヲ承リ

○大矢政府委員 田畠ノ所得ヲ見マスル場  
合ニ、各所得者ニ就キマシテ一々實査スル

譯ニモ參リマセヌノデ、大體中傭ヲ得タチ  
ノニ付テ調査シテ見マシテ、ソレデ他ヲ類

推シテ計算スルト云フ方法ヲ採ツテ居リマ  
シテ、所謂田畠所得標準率ト云フモノヲ各

村ニ瓦ツテ作成シテ、大體ソレヲ基準ニシテ

ガ、今御質問ノ點ハ其田畠所得標準率ヲ作成スルニ當ツテ、一反歩當リ所擧幾ラト云々

コトノミデナク、賃貸價格ニモ基礎ヲ置イテ老  
テ十草ヲシタラドウカト云フ即ち旨力ト考

ヘマシタ、以前地租ノ課稅標準ヲ地價ニ置  
キテ持代ニ於ケンチキ、日則ノ支則ノニ

方ニ於テハ標準ニシナガラ、更ニ一反歩堂  
リノ地價ノ如何ニ依ッテ、相當三階級トカフ  
階級ト云フ風ニ、一村内ニ於テモ階級ヲ設

ケテ、標準ヲ作ツテ居タ時代モアッタノデゴザイマスガ、段々所得稅ノ免稅點ガ引上ゲラマシテ、現在ニ於テハ千二百圓ト云フ義務ガアルヤウニナリマス者ハ、相當廣い反別ヲ持ツテ居ル者デアリマス、隨テ是等納稅者ニ付テ見マスト、大體一ヶ村ノ一反歩當リ平均賃貸價格ニ近イモノガ、個々ノ人ニ付テ見テモ其ノ人ノ所有スル反別ノ一反歩當リ平均賃貸價格トナツテ居ルト云フヤウナ事情デゴザイマシテ、一々細カク賃貸價格ニ依ツテ區分スルノモ、又一村一率ニ反別標準ニ依ルノモ、結果ニ於テ大差ガナイト云フヤウナ狀況デゴザイマスノデ、現在ハ大體各村一律ニ致シマシテ、反別ヲ標準ニシテ居ルト云フ狀況デゴザイマス、併ナガラ平坦部ト山間部ト兩方アルヤウナ場合ニ於キマシテハ、必シモ、是デ賦課スル譯ニハ參ラヌノデゴザイマスカラ、サウ云フ場合ニハ、賃貸價格ヲ基準ニスルト云フコトモ致シテ居リマス、更ニ土地ノ惡イ所ヲ多ク所有シテ居ル人ニ付キマシテハ、實地ニ調査ヲスル、或ハ其人ノ賃貸價格ノ平均ヲ加味シテ、適當ニ此標準率ニ對シテ加減ヲスルト云フヤウナコトヲ致シテ居リマス、要スルニ此田畠所得標準率ト云フノハ、中庸ヲ

得タ人ニ對シテ汎ク適用シヨウト云フ趣旨  
適實ニヤッテ行クヤウニ致シテ居ルノデゴ  
ザイマス、殊ニ災害ノ發生シタヤウナ場合  
ニハ、反別ニ依ル、或ハ賃貸價格ニ依ル、  
此何レニシテモ實情ニ適シナイト云フヤウ  
ナ場合ガ多イノデゴザイマスカラ、サウ云  
フ場合ニハ尙更實地ニ就テ能ク實情ヲ調査  
シテ、個々ニ決メテ行ク方針モ執ツテ居リマ  
ス、御述ニナッタ御趣旨ノ點ニモ大分御同感  
ノ點モアリマスカラ、將來此標準率ノ適用  
ニ當リマシテハ、必シモ反別ニ依ルト云フ  
コトヲ墨守セズシテ、或ル場合ニハ賃貸價  
格ニ依ルト云フコトモヤッテ行キタイト存  
ジテ居リマス、現ニ各稅務監督局デモ、必シ  
モ反別ニ依ツテ居ル譯デハアリマセヌノデ、  
賃貸價格ニ依ツテヤッテ居ル所モアル狀況デ  
ゴザイマス

來マシテモ、率デ行クモノデスカラ支障ハ  
ナイ、ソレデ是マデノ地價ニ合セタ時モ、  
或ハ賃貸價格ニ合セタ時モ、又反別ニ合セ  
タ時モソレハ同ジコトデアッテ、差支ナイト  
思フカラ、此方ガ便利ダト私ハ思フ、ソレ  
カラ同ジ管内デモ、一反ノ賃貸價格ヲ見マ  
スト、四十圓以上モシテ居ル所ガアリマス  
シ、又十五圓位ノ所モアリマス、二十圓位  
ノ所モアリマス、非常ニ差ガ多イ、此多イ  
差ト云フモノモ、賃貸價格ニ依レバ明ニナル  
譯デアル、反別デアルト二十圓トカ二十五  
圓トカ云フヤウナ程度ニシカ調ガ是マデ出  
來テ居ラヌ、十八圓トカ二十七圓ト云フノ  
ガ大ナル差デアル、賃貸價格ニ依リマスト、  
實際ノ田地ノ收穫カラ調べテ來テ居リマス  
カラ、此方ガ非常ニ密ニナッテ居ル、デアリ  
マスカラドウカ是ハ——只今モ絶對ニ之ヲ  
用ヒナインデハナイ、用ヒテ居ル所モアル  
ト、斯ウ云フ風ノ御答辯デゴザイマスカ、  
ドウカ賃貸價格ニオ依リニナッテ、便利コソ  
アッテモ不都合ハナイ、又所得ノ盛リ方ガ密  
ニナッテモ粗ニハナラナイ、是ハ特ニ御考  
顧ツテ、一ツ御採用ヲ戴キタイト考ヘテ居リ  
マス、ドウカ大藏省ニ於カレマシテモ、十  
分御研究下サツテ、御採用下サレンコトヲ希  
望致ス次第デアリマス

○大矢政府委员

○大矢政府委員 要スルニ田畠所得標準率  
ハ、成ベク實情ニ適スルヤウニヤルベキデ  
ゴザイマスカラ、敢テ反別ヲ基準ニシナケ  
レバナラスト云フコトハ無イノデゴザイマ  
ス、賃貸價格ニ依ル方ガ適當ナル場合ニハ、  
賃貸價格ニ依ルベキデアリマシテ、殊ニ此  
度新シク賃貸價格ノ改訂モ致シマシテ、此  
昭和十三年分ヨリ、此改訂セラレタ賃貸價  
格ニ依ツテ地租ヲ徵收スルヤウニ、比較的新  
シイ調査モ出來テ居ルノデゴザイマスカラ、  
スル點ガ多カラウト存ジマス、唯先程モ申  
上ゲマシタ通り、賃貸價格ノミニ依ツテモ、  
年ニ依ツテ或ル一部ニ災害ガアルトカ、其他  
ノ事情ニ依リマシテ、必シモソレニ依ラレ  
ナイト云フ場合モ多イノデゴザイマス、又大  
體平坦部ヲ管轄シテ居ル稅務署或ハ平坦部  
ノ町村ノ如キハ、賃貸價格ニ依ツテモ、反別  
ニ依ツテモ結果ハ同ジダト云フヤウナ點モ  
アリマス、地方々々ノ實情ニ即シテ適實ニ  
ヤツテ行キタイト考ヘル次第アリマス  
○山川委員 ソレデハ次ノ御質問ヲ申上ゲ  
タイト思ヒマス、所得稅法中林木賣却ノ收  
入課稅控除率ニ付キマシテハ、曩ニ本會議  
ニ於キマシテ私ハ御伺シタノデアリマス、  
所ガ大臣ノ御答辯ガ、是ハ私ノ質問ノ仕方

ガ、要領ヲ得テ居ナイノデアリマス、デアリマスカラ茲ニ改メテ、大切ナ事デアリマス、ソレハドウ云フ事デアルカト申シマスト、山代金ノ賣リマシタ内カラ、經費其他トシテ控除ヲサレル其控除率ト云フモノニ、稅務署管内ニ依リ、或ハ府縣ニ依ツテ大變ナ差ガアル、同ジ千圓デ賣タモノニ、九百圓控除シテ百圓ダケニ稅金ヲ掛ケラレル所ト、千圓ノモノニタッタ百圓カ百五十圓引イテ八百五十圓迄ニ稅金ヲ課ケラレル所トガアル、是位ノ差ガアル、一割ヲ引クノト九割ヲ引クノ大差ガアル、之ヲ改メテ貰ヒタイ、日本全國均衡ヲ得ルヤウニシテ貰ヒタイ、ソレカラソレダケノ均衡ヲ得ルダケノコトヲ御願スルノデハナイ、其上ニドウゾ控除率ヲ澤山引イテ貰ヒタイ、一番餘計引イテ居ル所ニ倣ウテ、七割引イテ貰フトカ、八割引イテ貰フトカシテ貰ヒタイ、之ヲ揃ヘテ戴キタクト云フコトヲ此間御願シタノデアリマスケレドモ、其御答辯ニハ、費用ノ大小トカ、或ハ山ノ道ノ遠近ニ依リ差ガアルト云フコトヲ仰セラレタガ、ソレハ全ク達ヒマス、商人トシテ山ヲ買フ時ニ、經濟距離ノ遠イ所ハ安ク買フニ決ツテ居ル、近

ニ付テハ一ツモ關係シテ居ラヌ、唯林木ヲ賣ッタ代金ニ對シテノ控除率デアリマスカラ、是ハ何處迄モノ同ジモノデナケレバナラヌモノデアル、稅務署々々々デソレガ大ト云フコトト、全國的ニ均衡ヲ得セシメテ貰ヒタイト云フコトヲ御願スル譯デアリマス、之ニ向ッテ御所見ヲ承リタイト思ヒマス○大矢政府委員 山林所得ノ計算ニ當リマシテ、全國均衡ヲ得ルヤウニシテ貰ヒタイト云フ御說ニハ全ク同感デアリマス、但シ現在各地方ニ依リ、各稅務署ニ依リ、或ハ同ジ稅務署管内ニ於キマシテモ、此收入金カラ經費トシテ控除スル割合ガ區々ニナッテ居ルガ、是ハ不公平デアルト仰セニナラレテ居リマスガ、ソレハ必ズシモサウデナクテ、寧ロ吾々ハ相當大巾ノ開キガアルノハ適當デハナカラウカト斯ウ存ズル次第デ材ニナルヤウナ雜木林デ、十年位デ伐リ出セルト云フモノトデハ、同ジ收入金デモ經費ノ點ニ於テ非常ニ差ガアルノデゴザイマス、ソレカラ杉、檜ノ山林ニ付キマシテモ、年々間伐シテ賣ル場合ト五十年トカ七十年

トカ成長シタ立木トシテ賣ル場合トデハ又  
異ルノデアリマス、ソレカラ立木ノ儘デ賣  
ルノト、自分で伐ツテ山カラ町マデ持チ出  
リ同ジ收入金デモ經費ガ非常ニ違フノデゴ  
ザイマシテ、隨テ先程申上ゲタ田畠標準率  
ノヤウニ大體一村一率ト云フ風ニハトテモ  
参ラヌ、ソレハ山林自體ノ性質カラ起ツテ  
來ル當然ナコトデアリマス、唯ソレデヘ現  
在各稅務署ニ於テ山林所得ヲ計算シテ居ル  
ノカ、果シテ適切ニ行ツテ居ルカドウカト  
云フコトヲ申上ゲマスト、是ハ又實際山林  
ノ經費ヲ見ルコトハ非常ニ困難デアリマス、  
五十年七十年ノ前マデ遡ツテ、今日迄ノ經費  
ヲ詳細ニ計算スル場合ノヤウニ單純ナ計算ニ  
アリマス、其他ノ點ニ於キマシテモ、他ノ  
所得ヲ計算スル場合ノヤウニ單純ナ計算ニ  
依ル譯ニハ參リマセヌ、隨テ現在ノ執行必  
ズシモ完璧トハ申サレナイカト思ヒマス、  
其點ニ付キマシテ山川サンノ御説ノ如ク、  
モウ一層念ヲ入レマシテ各地ノ均衡ヲ取ル  
必要ハアルト思ヒマス、十分其點ハ努力シ  
テ見タイト思ヒマス、ソレカラ成ベク控除  
ケレドモ、是ハ稅法ノ第十四條ノ第一項第  
二號ニ「山林ノ所得ハ前年中ノ總收入金額

ヨリ必要ノ經費ヲ控除シタル金額トアリマ  
シテ、必要ノ經費以上ノモノヲ控除スル譯  
ニハ参リマセヌ、是ハ他ノ所得トノ權衡モ  
ハ或ル點マデ分リマスケレドモ、必シモ御  
趣旨ニハ副ヒ兼ネルカト思ヒマス、要スル  
ニ必要ナ經費デナケレバ控除スル譯ニハ參  
リマセヌ

○山川委員 只今控除率ノ差ニ付テ、樹種、  
樹齡ニ依リ、又經濟距離ノ遠近ニ依ッテ、差  
ガアルト云フヤウニ御答ニナリマシタガ、  
私ガ茲ニ示シテ居リマスル一割五分ヨリ九割  
マデアルト言ヒマスノハ、是ハ造林ナラ造林  
其モノニ付テ尋ネテ居ルノデ、例ヘバ雜木  
林ナラ雜木林、斯ウ云フモノニ付テ是グケノ  
差ガアル、同ジモノデ差ガアル、今仰セラレ  
タヤウナコトデ差ガアルト云フコトハ勿論  
承知シテ居ル、即チ主伐ト間伐、樹種、樹  
齡ニ依ッテ差ガアルト云フコトハ承知シテ  
居リマス、ソレハ同ジモノダケニ付テ、  
別々ニズット調査ハシテ居ル、例ヘバ間伐  
ハ間伐バカリ調査シテ居ル、主伐ハ主伐バ  
カリ調査シテ居ル、其各別ノ調査ノ中ニ斯ウ  
シテ居ル、杉ナラ杉バカリ、檜ナラ檜バカリ  
リ調査シテ居ル、主伐ハ主伐バカリ調査

スウ申上ガテ居ルノアリマス、ソコハ  
ツ實地各稅務署ニ付テドウカ御調べヲ願ッ  
テ、何デ斯ウ云フ差ガアルカト云フコトヲ、  
基礎調査カラシテ戴キマシタナラバ能ク分  
ルト思ヒマス、是ハ是非均一シナケレバナ  
ラスト思フ、ソレカラ控除率ニ付テハ規定  
ガアツテ、サウ實際ノ費用以上ニスルコトハ  
出來ナイト仰セラレマスガ、山林所得ト云  
フヤウナモノハ、遲イモノハ百年モ後レル  
モノモアル、ドンナモノデモ二十年位後レ  
テ居ル、斯ンナ長イ間ニ蓄積シタ所ノ農民  
ノ勤勞カラ生ジタモノデアリマスカラ、ド  
ウカソコハ年々所得ノ擧ルヤウナモノト見  
比ベラセズニ、特例ヲ開イテ戴キタイ、只  
今御讀上ダ下サイマシタ規定ノ中ニ、林木  
ノ賣却收入ニ付テハ特ニ低率ナモノヲ擁ヘ  
テ、是レヽニ依ルト云フヤウニ規定ヲ一  
ツ改メテ戴クコトハ出來ナイカ、若シ是ガ  
議會ナラ議會デ協賛ヲシナケレバナラヌ項  
目ノ中ニ入ツテ居ル御規則ナラバ、ドウカサ  
ウ云フモノヲ改訂スベキ法令ヲツ政府カ  
ラ御出シヲ願ヒタイ、斯ウ思ヒマス

モノデハナカラウカト云フヤウナ感ジガ致シマスガ、兎ニ角先程申上ゲマシタ通り、各種ノ條件ガ違ヒマスノデ、收入金ニ對スル經費ノ割合ニ、或ル程度ノ開キガアルノハ寧ロ當然カト思ヒマス、問題ハソレヲ確實ニ調査サレテ居ルカドウカト云フコトニアルノデハナカラウカト存ジマス、次ニ經費ノ點デゴザイマスガ、是ハドウモ所得ヲ計算スル場合ニハ、ドウシテモ收入金カラザイマス、經費ヲ控除スルト云フノガ根本原則デ、此原則ハ打破ル譯ニハ行カナイノデゴウカ、適當ナリヤ否ヤハ問題ガゴザイマセウケレドモ、ソレガ確實ニ計算サレタト云フ場合ニ、ソレデハ實情ニ即シナイカラ、モウ五割經費ヲ餘計見テ吳レ、或ハ倍額經費ニ見テ吳レト云フコトハ、是ハドウモ所得法ノ本質カラ言ダテ、サウ云フコトヘ出特殊性ニ鑑ミマシテ、稅率ノ方デ相當考慮セラレテ居ルノデゴザイマス〇山川委員 現ニ私ノ調査デハアリマスケレドモ、其調査ヲヤツタノデアリマス、實際

サウ云フコトガアルノデゴザイマス、同ジ  
一割五分ヨリ九割マデト申シマスト、是ハ  
最モ一番高イモノト一番低イモノトヲ申上  
ゲタノデアリマスガ、大抵二割五分カラ三  
割位引イテ居ル所ガ多イ、ソレカラ六割、  
七割ト云フモノモ大分アル、私ノ兵庫縣邊  
リハ何ボ引イテ居ルカト云フト、植林デ二  
割シカ引イテ居ナイ、ソレデドウモ兵庫縣  
邊リハ非常ニ控除率引キ方ガ少イ、損ヲシ  
テ居ル縣ニナツテ居ル、滋賀縣邊リハ確ニ八  
割程引イテ居ル、サウ云フヤウナコトハ事  
實デアリマス、ソレヲ一遍御調査ヲ願ヒマ  
スト、如何ニモ山林ナドハウツカリシテ居ッ  
タガ、大變ナコトヲヤシテ居ルノダナアト  
云フコトヲ、必ズ御感ジ下サルコトト私ハ  
信ズルノデアリマス、ドウカ一遍サウ云フ  
方面ノ實施御調査ヲ願ヒマス、サウシテ私  
ノ申上ゲタコトハ如何ニモ理ガアルト、斯  
ウ云フ風ニ思召サレマシタラ、ドウカ先程  
申上ゲマシタ御改訂ヲ願ヒタイ、但シ安イ  
方ヲ引上ゲテ、高イ方ハ放ツテ置ク、或ハ平  
均スルト云フコトニナルト、私共ノヤウナ  
モノハ高クサレテ、山川ガアンナコトヲ言ツ  
タカラ、俺ノ縣ハ却テ上ツタト云フヤウナ

リマス、ソコデドウゾ低イ方ハ其儘デ宜シ  
イカラ、高イ方ダケラ下ゲルト云フヤウナ  
方法ニ、是ハ御考下サラヌトドウモナラヌ  
ト思ヒマス、此コトハ特ニ御願ヲ致シテ置  
キマス

ダ四十年モ五十年モシナケレバ金ニナラヌ、然ルニサウ云フモノガ現ニ地上ニアルモノヲ、一反二十圓ニ賣ルトカ十五圓ニ賣ルト云フヤウニ見積ラレテ、稅ヲ取ラレルト云フコトニナルト、若シ其木ヲ伐ルマデノ間ニ、家ノ内ハ三代モ續イテ相續セヌケレバナラヌ、オ爺サンノ時代カラ息子ニ移ッテ、其息子ガ若死シテ其若イ娘ニ移ッタ云フヤウニ、三代モ續イテコンナ稅ヲ取ラレテハ、ソンナモノハ放ツテシマノタ方ガ宜イト云フ結果ヲ來スノデアリマス、デアリマスニナラヌヤウナ現在ノ若イ木ニ價格ヲ付ケテ、ソレカラ相續稅ヲ取ルト云フコトハ洵ニ苛酷デアルト思フノデアリマス、ソレデ成林ニ對シテハ相續稅ノ相當ノ額ヲ設ケラレマシテモ、ソレ以外ノモノノ未熟ナ果實、即チ五六十年モ經タナケレバ價値ノナイヤウナモノカラ、ドウシテモ稅ヲ取ラヌケレバナラヌモノデアリマシタナラバ、其樹齡ヲ調べテ見テ課ケル、是ハ十五年生デアルカラ六十年目ニナックラ何ボニ賣ルト云フヤウニ計算ヲシテ戴ク、サウ云フ風ニ歸納的ニ利率ヲ調べテモウ少シ控除シテ貰ッタナラバ、殆ド二十年生、三十年生ノヤウ

ナモノハ只ニナルト思フノデアリマス、ソレヲ此二十年生ハ六十年目ニハ伐レルカラ、三分ノ一ノ價值ガアルト云フヤウナ歸納的計算ヲサレテ、ソレト土地トヲ合計シテ相續稅ヲ課ケラレルコトニナレバ、山ヲ持テモ三回モ相續シタストレバ、其山ハ飛ンデシマフコトニナル、是モ少シ無理ダト思ヒマス、今日貧弱ナル農村ニ於テハ、別ニ獎勵金モ貰ハズニ、國家百年ノ大計ヲ自ラヤツテ居ル、即チ全農村民ノ勞働ヲ蓄積シタ所ノ勤勞所得ノ塊リデアルト云フコトニ思ヲ致サレマシテ、高クナイヤウニ相續稅

ヲ御認メ下サルコトが必要ナリト考ヘルノデアリマス、之ニ對スル御所見ヲ御伺致シマス

○大矢政府委員 相續財產ノ價格ハ、相續開始當時ノ時價ニ依ルト云フコトニナッテ居リマスノデ、今御話ノ幼齡樹林ノアル山林ニ付キマシテモ、其山林ノ土地ト幼齡樹林其モノトヲ適當ニ評價シテ、相續財產ノ價格ヲ計算スペキデアリマス、實際問題トシテ幼齡樹林ノ價格ヲ如何ニ評價スルカト云フコトハ、非常ニ困難ナ問題デアリマス、成ベク近傍ノ類地ニ付キマシテ、出來ルダケ賣買ノ實例ヲ調査致シマシテ、ソレニ依テ評價スルト云フ方法ヲ用ヒテ居ルノデゴ

ザイマスガ、サウ云フ實例モ至ッテ少イト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、此植林ニ要シタ費用、投下資本、樹齡、成育ノ狀況等ヲ勘案致シマシテ、適切ニ評價スルヨリ外ハナイト存ズルノデゴザイマス、實際山林ハ何十年ニ一回伐採致シマシテ收入ヲ得ルノデゴザイマスカラ、途中ニ二代、三代ト相續ヲ開始スルヤウナ場合ニハ洵ニ仰セノ通リノコトモ起ルカト存ジマス、幼齡樹林ノ評價ニ當リマシテハ十分ニ注意ヲ致シマス、無理ノ掛ラヌヤウニ致シタイト存ジマス

○山川委員 是ハ此位ニ致シテ置キマス次ニ酒造稅法ノ改正ニ付キマシテ御伺シタイノデアリマスルガ、酒造稅法ヲ改正セラレマシテ、販賣業者ト仲介業者トヲ免許制ニ改メラレマシタノハ洵ニ結構ナコトデアリマス、寧ロ遲キヲ憾ム者デアリマス、從來酒類販賣業者間ニ行ハレテ居リマス所ノ商取引ノ上ニ、幾多ノ惡イ習慣ガアルノデアル、是ガ秩序アル商取引ガ行ハレテ居ルノデアルナラバ、ソレ程澤山ノ仲買人ガ廢業シタリ開業シタリスル筈ガナ、是ハ相當業者ノ資格ニ制限ヲ加ヘラレル必要ガ有ル、是ガアルナラバ、アルト考ヘルノデアリマス、是ハ稅務署ノ方ニ於キマシテモ、大藏省ノ方ニ於キマシテモ能ク御承知ニナッテ居ルコト思フノデアリマス、是ガ爲ニアルト考ヘルノデアリマスカ、又ハ此度府ハドウ云フ御考デアリマスカ、又ハ此度ハ免許制ダケヲ置イタケレドモ、遠カラズサウ云フ方法ヲ執ル積リノ是ハ前提デアル

國ノ租稅ノ大宗デアル稅源涵養ノ上カラモモト矯正シナケレバナララスト云フノハ、我伊タ場合ニハ取上げラレルト云フコトモ追々

○大矢政府委員 昭和十三年ノ一月一日現在デ既ニ酒類販賣業ヲ爲シテ居ル者ニ付キマシテハ、既得ノ權利ト致シマシテ之ヲ認メテ行カウ、即チ本法施行後一箇月以内ニ申告ヲスレバ、本法ニ依リテ免許ヲ受ケタモレバナラヌト思フノデアリマス、是ハ醸造家ニ執リマシテハ非常ニ大切ナコトデアリマス、國トシマシテモ亦稅源涵養ノ上ニ於テ非常ナ大切ナコトデアルト思フノデアリマス、同ジヤルナラバ一緒ニ之ヲヤラレタラ宜イ、ドウ云フ譯デ斯ンナ免許制——前ノ者ハ届出サヘシタラ宜イト云ウテ、ドンナモノデモ認メル、東京市内デモ仲買人ガ一年ニ何千人ト云ウテ開業スル者モアレバ、又廢業スル者モアルト云フヤウナ狀況デアル、是ガ秩序アル商取引ガ行ハレテ居カ、或ハ又既往ニ於テ何カノ都合デ免許ヲト、酒造稅法ニ違反シテ處罰セラレタ者トキタイト存ジマス、一二ノ例ヲ舉ゲマスト、酒造稅法ニ違反シテ處罰セラレタ者トカ、或ハ又既往ニ於テ何カノ都合デ免許ヲ取消サレタ者ガ、間モナク又免許ヲ出願シテ來タト云フ場合ニハ許サヌ積リデアリマス、其者ノ既往ノ經歷、或ハ酒造稅法ニ照テ來タト云フ場合ニハ許サヌ積リデアリマス、其者ニ對シマシテハ、免許ヲ與ヘナイト云フ方針デ行キタイト思ヒマス

○山川委員 サウ致シマスルト、規定ニ反

出來テ來ルノデアリマスガ、先ツ以テ其仲  
買業者ノ信用程度ヲ進メルト云フ爲ニ、  
何カ一定ノ資格ニ依ッテ之ヲ定メルト云フ  
ヤウナ、内規トカ規定ト云フモノヲ御持ヘ  
ニナル御考ガナイノデスカ、今ノ所ハヤラ  
ヌデモ先ニ追々ヤルト云フコトモアルノ  
デアリマスカ、ソレヲ一ツ伺ヒタイ

ノデ大シタ差ハナイ、四千圓位ノモノガ多イ  
ノデアリマス、輸入品ト内地品トノ差ト云  
フモノハ五百圓位ノモノデアリマス、何レ  
ニ致シマシテモ、三千圓以上ノモノデアル、  
ソレデ茲ニ三千圓ト云フ免稅點ヲ御拵ヘニ  
ナリマシタノハ、外國ノ輸入ヲ防イデ内地  
品ヲ獎勵シヨウト云フ、所謂爲替強化、斯  
ウ云フ者カラオヤリニナツテ居ルコトダラ  
ウト思フノデアリマスルガ、何レニ致シマ  
シテモ、是ハ免稅點以下ノモノハナイノデ  
アリマス、隨テ是ガ爲ニ課稅サレル乗用自  
動車ノ營業者ハ、事變以來影響ヲ受ケテ不

準ヲ超ユルモノ」トモ  
ハ前輪ト後輪トノ申ニ  
ソレガ二百八十九種程  
ニ物品稅ヲ課稅シヨウ  
隨ヒマシテ今御話ノ開  
カニッサン」ノ類、又  
ル、「フォード」トカ「  
ナモノハ、課稅ヲ受ケ  
ソレカラ免稅點三十三回  
法施行ノ際ニ、製造者  
居ル自動車ノ價格ガ二  
ハ課稅スルト云フノゴ

致シマシテ、此輪距ト  
心距離デアリマスガ、  
程度ヲ超ユルモノダケ  
ソト考ヘテ居リマス、  
國產自動車「トヨダ」ト  
又多ク營業用ニ用ヒラ  
シボレー」ト云フヤウ  
ナイノデゴザイマス、  
圓ト申シマスノハ、本  
省又ハ販賣者ガ持ッテ  
三千圓以上ナル場合ニ  
アゴザイマシテ、自動

ノニマダ高イト云フノハラカシイヤウデアリマスガ、是ハ洋樂器ノ如キハ近年製造技術ガ非常ニ進歩シテ、輸入ヲ防イデ月產額三十五万圓バカリニナッテ居リマシテ「約六割ヲ輸出スルト云フ勢マデ進ンデ來タノデアリマス、ソレガ七十一回議會ノ增稅デ、急轉直下シテ現在ハ月產額十二万圓位ニ減ジタ、殆ド三分ノ一ニ減ジテシマッタ、斯ウ云フ稅金ハ斯業ニヒドイ迫害ヲ與ヘルモノデアルト云フコトヲ知ツタノデアリマス、孰練ノ職工ハ轉業シテシマフ、輸出ハ減退ス

Digitized by srujanika@gmail.com

云フ公衆交通機關ノ保護ノ上カラ考ヘマシテモ、此免稅點ヲ五千圓、六千圓位ニ引上ゲル必要ガアルト考ヘルノデアリマス、サウシタラ助カルケレドモ、サウデナカッタナラバ是ハ全部掛ル譯デアリマス、内地品デアルカラト云ウテ別ニ恩典ヲ受ケラレヌヤウナ計算ニナツテ居リマス、此事ニ付テ一ツ當局ノ御考ヲ承リタイト思ヒマス

○大矢政府委員 御手許ニ「物品稅課稅物品ノ内容概要」ト云フモノヲ資料トシテ差上ダマシタガ、其中ニ乗用自動車ニ付テハ「普通乗用自動車ニシテ輪距ガ一定ノ基

ルモノニ限り其ノ適用ヲ受ケル譯デアリマス、  
ス、デ輪距二百八十九纏程度ヲ超ユル自動車  
車ハ、今御話ニナリマシタ大體五千圓、六  
千圓以上ノ自動車ダト存ジマスカラ、其章  
味ニ於キマジテ大體御心配ニナッテ居ル點  
ハ除カレルカト思フノデアリマス  
○山川委員 サウ致シマスト大キナモノハ  
掛ル、此寸法以下ノモノデアッタナラバ免  
稅ニナル譯デアリマスカ  
○大矢政府委員 左様デアリマス  
○山川委員 ソレデ分リマシタ、次ニ樂器  
稅ノ問題デアリマスルガ、樂器稅ハ七十一  
稅會ノ時ニ二割ニナツテ居ツタ、ソレガ今度

ル此業者ガ、税金ノ爲ニ身ヲ詰メラレタヤ  
ウナ状況ニナッテ居ルノデアリマス、一割五  
分ニナッテ、五分減ッテ居リマスケレドモ、  
コンナ樂器位ナモノニ税金ヲ課ケテ、何ボ  
程ノ税金ガ取レルカ知レヌケレドモ、年々  
三十万圆カ四十万圆位ノモノデアルト考ヘ  
マス、昨日質疑ノ時ニ申上ガマシタ葡萄酒  
デハナイガ、芽ガ出タラ摘ンデシマフ、芽  
ガ出タラ摘ンデシマフト云フヤリ方ハドウモ  
ノ芽ヲ摘ンデシマフト云フヤリ方ハドウモ  
面白クナイト思フノデアリマス、是ハ廢稅  
ニスルコトガ適當ナリト存ズルノデアリマ  
ス、若シ廢稅ニスルコトガ出來ナイナラバ、

○大矢政府委員 御手許ニ一物品税課稅物品ノ内容概要ト云フモノヲ資料トシテ差上ゲマシタガ、其中ニ乗用自動車ニ付テハ「普通乗用自動車ニシテ輪距ガ一定ノ基

○大矢政府委員 左様デアリマス  
○山川委員 ソレデ分リマシタ、次ニ樂器税  
税ノ問題デアリマスルガ、樂器税ハ七十二  
議會ノ時ニ二割ニナツテ居ツタ、ソレガ今度

ノ芽ヲ摘ンデシマフト云フヤリ方ハドモ  
面白クナイト思フノデアリマス、是ハ廢稅  
ニスルコトガ適當ナリト存ズルノデアリマ  
ス、若シ廢稅ニスルコトガ出來ナイナラバ、

第六類第六號  
臨時租稅增徵法中改正法律案外七件委員會議錄

第十八回 昭和十三年三月十日

七

一割ニデモ下ゲテヤツタナラバ、稍持直ス  
コトガ出來ルカ知ラント考ヘルノデアリマ  
ス、ソレカラ和樂器ノ中ニモ——學校用品  
ハ洋樂器ハ免稅ニナツテ居ル、和樂器ノ中  
ニモ琴三味線ノヤウナモノハ、ヤハリ學校  
用品トシテ使ツテ居ルノデアリマスカラ、  
是モ同ジヤウニ免稅ノ中ニ加ヘナケレバ均  
衡ヲ失スルト、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリ  
マス、之ニ對シマシテ御所見ヲ伺ヒタイ  
○大矢政府委員 此度物品稅ノ範圍ヲ擴張  
致シマシテ、相當廣範圍ニ課稅スルコトニ  
ナリマシタ、其際ニ於キマシテ、樂器ノ課  
稅ヲ廢止スルト云フ譯ニハ到底參ラヌコト  
ト存ジマス、稅率モ二割デアリマシタノヲ  
一割五分ニ致シマシタヤウナ次第デ、他ト  
ノ均衡上是レ以上ノ引下ハ困難ダト存ジマ  
ス、輸出ノ方面ノ振ハナイト云フノハ、寧  
ロ物品稅ノ影響ト云フヨリハ、米國ノ經濟  
界ノ不況等ガ著シク影響ヲシテ居ルノデハ  
ナカラウカト存ジマス、ソレカラ輸出樂器  
スルノデ、從來ノ扱ヒヲ多少變ヘマシテ、  
玩具ト認メラル、モノハ將來ハ課稅ノ範圍  
外ニ置カウカト、斯ウ存ジテ居リマス、ソレ  
カラ學校デ使用スル洋樂器「ピアノ」「オル  
ガン」ナドノ類ハ免稅トナルガ、和樂器ノ

琴、三味線ハ同ジク學校デ使用シテ居ルノ  
カラ免稅シタラドウカト云フ御話デゴザ  
イマスガ、現狀カラ言ヒマシテ、「ピアノ」  
「オルガン」ノ類ハ廣ク小學校等ニ於テ使用  
サレテ居リマスルガ、琴、殊ニ三味線ノ如  
キニ至ツテハ餘リ使用サレテ居ナイカト存  
ジマス、其意味ニ於キマシテ、殊更差別待  
遇スル譯デハアリマセヌガ、現狀カラ見マ  
シテ此程度ノ所ガ適當デハナカラウカ、斯  
ウ存ジテ居ル次第デゴザイマス  
○山川委員 小學校ニハ三味線ハ使ヒマセ  
スガ、高等女學校以上ノ女學校ハ、三味線ハ  
全部使ツテ居ルトハ申シマセヌガ、琴ナンカ  
ハ使ツテ居ナイ所ハ殆ドナイ位普及シテ居  
ルト思フノデス、特科トシテ皆設ケテ居リ  
マス、デアリマスルカラ、和樂器デモ學校  
ノ用品トシテ買入レタモノハ、假令其品物  
ダケナリトモ免除シテヤルト云フコトハ、  
是ハ是非セナケレバナラヌモノデアルト考  
ヘルノデアリマス、ソレガ只今ハ假令學校  
用ヒルモノデモ免稅ニナラナイ、洋樂器  
ハ學校用トサヘスレバ、是ハ免稅ニナル、  
モノヲ免稅セイト云フノデハナイ、學校用  
斯ウ云フ譯デ、片一方ノ和樂器ハ豫メ全部ノ  
モノヲ免稅セイト云フノデハナイ、學校用  
品トナルベキモノハ免稅ニシナケレバ均衡  
ヲ失スル、斯ウ云フヤウニ考ヘルノデアリ  
ガ

琴、三味線ハ同ジク學校デ使用シテ居ルノ

マスガ、モウ一度御伺致シマス

○大矢政府委員 學校ニ依ヅテ普及ノ程度  
イマスガ、現狀カラ言ヒマシテ、「ピアノ」

ガ大分違フト存ジマスノデ、此程度デ適當  
デハナカラウカト存ジテ居リマス

○山川委員 其交付金ハ地方財政補給金一億  
アレデアリマスカ、其以外ノモノデアリマ  
スカ

「オルガン」ノ類ハ廣ク小學校等ニ於テ使用  
サレテ居リマスルガ、琴、殊ニ三味線ノ如  
キニ至ツテハ餘リ使用サレテ居ナイカト存  
ジマス、其意味ニ於キマシテ、殊更差別待  
遇スル譯デハアリマセヌガ、現狀カラ見マ  
シテ此程度ノ所ガ適當デハナカラウカ、斯  
ウ存ジテ居ル次第デゴザイマス

○山川委員 洋樂器ノヤウニ澤山ノモノヲ  
大部分ノ學校デ用ヒナイデモ、假令少シデ  
モソレニ用ヒルト云フコトニナツタラ、其數  
ニ對シテハ免稅ニスルノガ至當デアルト信  
ジマスガ、モウ一應御答辯願ヒマス

○大矢政府委員 前ニ申上ゲタ通リデゴザ  
イマス  
○山川委員 小學校ニハ三味線ハ使ヒマセ  
スガ、高等女學校以上ノ女學校ハ、三味線ハ  
全部使ツテ居ルトハ申シマセヌガ、琴ナンカ  
ハ使ツテ居ナイ所ハ殆ドナイ位普及シテ居  
ルト思フノデス、特科トシテ皆設ケテ居リ  
マス、デアリマスルカラ、和樂器デモ學校  
ノ用品トシテ買入レタモノハ、假令其品物  
ダケナリトモ免除シテヤルト云フコトハ、  
是ハ是非セナケレバナラヌモノデアルト考  
ヘルノデアリマス、ソレガ只今ハ假令學校  
用ヒルモノデモ免稅ニナラナイ、洋樂器  
ハ學校用トサヘスレバ、是ハ免稅ニナル、  
モノヲ免稅セイト云フノデハナイ、學校用  
斯ウ云フ譯デ、片一方ノ和樂器ハ豫メ全部ノ  
モノヲ免稅セイト云フノデハナイ、學校用  
品トナルベキモノハ免稅ニシナケレバ均衡  
ヲ失スル、斯ウ云フヤウニ考ヘルノデアリ  
ガ

○大矢政府委員 臨時地方財政補給金一億  
マスガ、モウ一度御伺致シマス

○山川委員 洋樂器ノヤウニ澤山ノモノヲ  
大部分ノ學校デ用ヒナイデモ、假令少シデ  
モソレニ用ヒルト云フコトニナツタラ、其數  
ニ對シテハ免稅ニスルノガ至當デアルト信  
ジマスガ、モウ一應御答辯願ヒマス

○大矢政府委員 前ニ申上ゲタ通リデゴザ  
イマス  
○山川委員 小學校ニハ三味線ハ使ヒマセ  
スガ、高等女學校以上ノ女學校ハ、三味線ハ  
全部使ツテ居ルトハ申シマセヌガ、琴ナンカ  
ハ使ツテ居ナイ所ハ殆ドナイ位普及シテ居  
ルト思フノデス、特科トシテ皆設ケテ居リ  
マス、デアリマスルカラ、和樂器デモ學校  
ノ用品トシテ買入レタモノハ、假令其品物  
ダケナリトモ免除シテヤルト云フコトハ、  
是ハ是非セナケレバナラヌモノデアルト考  
ヘルノデアリマス、ソレガ只今ハ假令學校  
用ヒルモノデモ免稅ニナラナイ、洋樂器  
ハ學校用トサヘスレバ、是ハ免稅ニナル、  
モノヲ免稅セイト云フノデハナイ、學校用  
斯ウ云フ譯デ、片一方ノ和樂器ハ豫メ全部ノ  
モノヲ免稅セイト云フノデハナイ、學校用  
品トナルベキモノハ免稅ニシナケレバ均衡  
ヲ失スル、斯ウ云フヤウニ考ヘルノデアリ  
ガ

○大矢政府委員 其交付金ヨリ交付スル積リデアリマス  
○山川委員 其交付金ハ地方財政補給金、  
アレデアリマスカ、其以外ノモノデアリマ  
スカ

○大矢政府委員 學校ニ依ヅテ普及ノ程度  
イマスガ、現狀カラ言ヒマシテ、「ピアノ」  
「オルガン」ノ類ハ廣ク小學校等ニ於テ使用  
サレテ居リマスルガ、琴、殊ニ三味線ノ如  
キニ至ツテハ餘リ使用サレテ居ナイカト存  
ジマス、其意味ニ於キマシテ、殊更差別待  
遇スル譯デハアリマセヌガ、現狀カラ見マ  
シテ此程度ノ所ガ適當デハナカラウカ、斯  
ウ存ジテ居ル次第デゴザイマス  
○山川委員 小學校ニハ三味線ハ使ヒマセ  
スガ、高等女學校以上ノ女學校ハ、三味線ハ  
全部使ツテ居ルトハ申シマセヌガ、琴ナンカ  
ハ使ツテ居ナイ所ハ殆ドナイ位普及シテ居  
ルト思フノデス、特科トシテ皆設ケテ居リ  
マス、デアリマスルカラ、和樂器デモ學校  
ノ用品トシテ買入レタモノハ、假令其品物  
ダケナリトモ免除シテヤルト云フコトハ、  
是ハ是非セナケレバナラヌモノデアルト考  
ヘルノデアリマス、ソレガ只今ハ假令學校  
用ヒルモノデモ免稅ニナラナイ、洋樂器  
ハ學校用トサヘスレバ、是ハ免稅ニナル、  
モノヲ免稅セイト云フノデハナイ、學校用  
斯ウ云フ譯デ、片一方ノ和樂器ハ豫メ全部ノ  
モノヲ免稅セイト云フノデハナイ、學校用  
品トナルベキモノハ免稅ニシナケレバ均衡  
ヲ失スル、斯ウ云フヤウニ考ヘルノデアリ  
ガ

○大矢政府委員 不足額ハ交付金トシテ地  
方團體ニ國庫ヨリ交付スル積リデアリマス  
○山川委員 其交付金ハ地方財政補給金、  
アレデアリマスカ、其以外ノモノデアリマ  
スカ  
○大矢政府委員 臨時地方財政補給金一億  
圓ノ外デアリマス  
○大矢政府委員 ソレデハ今度ハ是ノ免稅點ノ  
コトニ付テ御伺シタイト思フノデアリマス、  
從來ハ兵庫縣ノ例ヲ見マスト、四十錢以上  
一圓未滿ガ三錢、一圓以上一圓五十錢未滿  
ガ五錢、一圓五十錢以上二圓未滿ガ十錢、  
斯ウ云フヤウナ風ニ納メテ居ルノデアリマス、  
其他ニ又興行者ハ興行稅ト云フモノヲ取ラ  
レテ居ルノデアリマス、是ハ並等ト一等トノ  
平均料金ノ約五十分ノ一乃至二十五分ノ一  
位ノ割合デ徵收シテ居ルノデアリマス、隨分  
ソレガ爲ニ行詰ツテ居ルノデアリマスガ、本  
案ニ依リマシテ更ニ一層業者ハ窓地ニ陥ル  
デアラウト考ヘルノデアリマス、ソレデ此  
免稅點ヲ五十錢以下位ノ所ニ改メル必要ガ  
アルト考ヘマスガ、大衆ノ觀覽ニ供シテ居  
ル所ノ事變「ニュース」映畫ノ如キ、決シテ贅  
澤デハナイ、皇軍將士ノ辛酸ヲ想起シ、涙グ  
マシイ戰鬪等幾多尊き犠牲ノ實況ヲ知ラシ  
メ、統後國民ノ熱情ヲ發揮セシメルノデア  
リマス、又民衆慰安ト相俟ツテ多大ノ貢獻ガ

アルモノト信ジテ居リマス、強チ是ガ贅澤ノミナリトハ信ゼラレナイノデアリマス、但シ相當料金ノ高イモノハ租税ヲ取りマシテモ結構デアリマスガ、十九錢ノ免稅點デハ非常ニ低イノデアリマス、先程申シマシタ兵庫縣ノ例ニ依リマシテモ、四十錢以下ハ殆ド免稅ニナツデ居ルノデアリマス、ソレガ今度十九錢ニナルコトハ餘リ低ク下リ過ギテ居ル、是ハ五十錢位ノ所ニ免稅點ヲ引上ゲル必要ガアルト信ズルノデアリマス、之ニ對スル御所見ヲ承リタイト思ヒマス○大矢政府委員 入場稅ハ申ス迄モナク演劇興行ヲ營ンデ居ル所ノ營業者ノ負擔スルモノデハナク、之ヲ觀覽スル爲ニ入場スル者ノ負擔スペキモノデゴザイマス、隨テ經營者ノ收益狀況ノ如何ト云フコトハ、理論上ハ問題ニナツテ來ナイカト存ジマス、ソレカラ免稅點ノコトデゴザイマスガ、現在各地方團體ノ賦課シテ居ル所ノ演劇興行稅或ハ觀覽稅ノ免稅點ヘ、大體十五錢ニナツテ居ルノデゴザイマス、隨ヒマシテ御話ノヤウニ免稅點ヲ五十錢ト致シマスレバ、此五十錢未滿ノ入場料ヲ支拂ツテ入場スル者ハ、一般ノ者ガ此事變下ニ於テ増稅ノ負擔ヲスル際ニ於キマシテ、却テ其從來負擔シテ居ル部分モ免除セラレルト云フコトニナルデ

ハナカラウカト云フ考ヲ持ッテ居リマス、ソレデ敢テ贅澤トカ奢侈的トハ申シマセヌケレドモ、大體二十錢内外ノ入場料ヲ支拂ツテ觀覽スル者ニ對シテ、一割程度ノ負擔ヲシテ戴クコトハ、此事變下ニ於テハ戰費支辨ニ協力シテ貰フト云フ趣旨ニ於テ、先ヅサウ無理ハナカラウト存ジテ居ル次第デアリマス

○山川委員 只今御答辯ニナリマシタガ、觀覽稅或ハ入場料ハ營業者ノ支拂フモノデハナクテ、觀覽者ガ納メルモノデアルト仰セラレテ居ル、ソレハ法律ハサウナツテ居ル、ケレドモ事實ニ於テ餘計取ッタラ客ガ少クナルカラ收入ガ少クナル、他ノ商賣ト違ツテ、物ヲ渡シテ錢ヲ取ルノトハ違フ、物ヲ見セテ金ヲ取ルモノデ、人ガ來テ吳レナケレバ收入ガ少クナル、デアルカラ稅金ダケハ勉強シナケレバ、ドウシテモ客ハ減ツテ來ル、現ニ神戸アタリデモ非常ナ客ノ減リ方デス、事變以後ノ減リ方ト云フモノハ實ニ甚シイ、勿論國家ノ大事デアル事變デアルカラ、觀ニ行ク者ガ減ルト云フコトハ、仕方後此原案が實施ノ曉ニハ劇場、活動寫眞館、運動競技場其他ノ入場者ニ對シマシテ、稅金ノ百分ノ十ノ稅率ヲ以テ課稅スルコトトナル譯デアリマス、是ハ一面長期應戰ヲ豫測スル現下ノ情勢ニ於テ、洵ニムヲ得ザル措置ト存ジマシテ、其趣旨ニハ全ク贊成スル所デアリマスガ、他面翻ツテ考へテ見マ

ヲ引上ゲルト云フコトハ、其必要アリト信ズルノデアリマスガ、此點ニ於テ主稅局長ト御意見方相違シテ居ルノデアリマス、何レ只今マデ質問シタ十項目ノ問題ニ付キマシテハ、改メテ大藏大臣ヨリ御答辯ヲ願フコトニ致シタイト思フノデアリマス、仍ツテ大藏大臣ノ御出席ノアル迄是ハ保留シテ置クシテ、稻田君ガ此入場料ノ問題ニ付テ、關聯質疑ヲシタイト言ハレテ居リマスカラ……

○西村委員長代理 此際申込ニ依リ稻田直道君ニ入場稅ニ關スル關聯質問ヲ許シマス——稻田君

○稻田直道君 私ハ木本委員ニ代リマシテ質問ヲ致ス次第デアリマス、今回政府ニ於キマシテ臨時軍事費財源ノ一部ニ充當スル爲ニ、各種ノ臨時增稅ヲ企圖セラレマシタニ際シマシテ、其新稅目ノ一つトシテ、入場稅ヲ新設セラレルコトニナリマシタ、今後此原案が實施ノ曉ニハ劇場、活動寫眞館、運動競技場其他ノ入場者ニ對シマシテ、稅金ヲ課セラレマスコトハ、長期戰爭ノ準備覺悟ヲ控ヘタル今日ニ於テハ、洵ニ銃後國民、就中可憐ナル婦女子青年ノ慰安ト人心ノ融和ヲ妨ゲマス暴舉トシテ、實ニ遺憾千萬ノコトデアルト思フノデアリマス、ソレデモ之ニ依ツテ何千万圓ノ稅ガ得ラレルナ万ノコトデアルト思フノデアリマス、ソレハリ業者ノ負擔ニナルト云フコトハ事實ノ問題デアリマス、ソレカラ五十錢ニ免稅點

スルニ、今日ハ映畫國策ノ呼ビ聲ガ世間ニハ高唱セラレルヤウニナツテ居リマス、映畫ズルノデアリマスガ、此點ニ於テ主稅局長ト民衆生活トガ密接重大化シテ參リマシテ、藝術ノ民衆化ガ頻リニ唱ヘラレテ來マシタニ拘リマセズ、之ヲ奢侈ト見マシテ、非常ニ無鐵砲奇酷ナル稅金ヲ取立テントセラレルガ如キハ洵ニ宜シクナイト思フ、若シ普通ノ餘リ高級デナ、一般的ナ芝居或ハ映畫ヲ觀覽スルコトヲ以テ奢侈ノヤウニ考ヘテ居ラレルナラバ、是ハ甚シク時代思想ニ外レテ居ルモノデアツテ、例ヘバ地方ノ小都市、農村デハ映畫館ト言ヒマスト、殆ド唯一無二ノ民衆ノ娛樂機關トナツテ居ルト言ス——稻田君

○稻田直道君 私ハ木本委員ニ代リマシテ質問ヲ致ス次第デアリマス、今回政府ニ於キマシテ臨時軍事費財源ノ一部ニ充當スル爲ニ、各種ノ臨時增稅ヲ企圖セラレマシタニ際シマシテ、其新稅目ノ一つトシテ、入場稅ヲ新設セラレルコトニナリマシタ、今後此原案が實施ノ曉ニハ劇場、活動寫眞館、運動競技場其他ノ入場者ニ對シマシテ、稅金ヲ課セラレマスコトハ、長期戰爭ノ準備覺悟ヲ控ヘタル今日ニ於テハ、洵ニ銃後國民、就中可憐ナル婦女子青年ノ慰安ト人心ノ融和ヲ妨ゲマス暴舉トシテ、實ニ遺憾千萬ノコトデアルト思フノデアリマス、ソレデモ之ニ依ツテ何千万圓ノ稅ガ得ラレルナ万ノコトデアルト思フノデアリマス、ソレハリ業者ノ負擔ニナルト云フコトハ事實ノ問題デアリマス、ソレカラ五十錢ニ免稅點

ト致シマシテモ、一方戰費ニ於キマシテ、五十億、七十億ノモノガ要ルノデアリマスカラ、ソレニ僅カ六七百万圓ヲ銃後國民、青年婦女子カラ取立テマシテ、ソレデ銃後ノフコトガアツナラバ、是ハ洵ニ由々シキ問題デハアルマイカト思フ、無論愛國觀念ハ動キハシマスマイケレドモ、可哀相デハナカト思フノデアリマス、斯ノ如キ新稅目ヲ立テラレルニ際シテハ、宜シク其課稅ノ當否ト云フコトヲモウ少シ考ヘテ貴ヒタイ、又假ニ課セラレルニ致シマシテモ、稅率ノ程度ト云フコトニ付キマシテモ今少シク考ヘテ貴ヒタイト思フノデアリマス、ソレニ付テ進シテ御尋シテ見タイノハ、餘り高級デナイ一般ノ芝居及ビ映畫ヲ見ルコトヲ政府ハ奢侈ト見テ居ラレルノデアリマスカ

○大矢政府委員 此度劇場、活動寫眞館等ノ入場者ニ對シマシテ入場稅ヲ課スルコトニ提案致シテ居リマスガ、御承知ノ通リ十九錢未滿ノ入場料ヲ支拂ッテ觀覽スル者ニ對シテハ課稅シナインデゴザイマス、昭和十一年ノ實績ニ基キマシテ活動寫眞館ノ入場人員ヲ計算シテ見マスルト、全國デ約二億四千二百万人デゴザイマス、其中十九錢未滿ノモノハ約一億四百万人、即チ四三%程

ハ十九錢未滿デゴザイマシテ、半數弱ノモノハ免稅ニナルノデゴザイマス、現在地方ノ演劇興行稅或ハ觀覽稅ト致シマシテハ、大體先程申上ゲタ通り十五錢以上ノモノガ課稅ニナツテ居ル譯デアリマシテ、演劇興行稅ハ各種ノ課稅ノ仕方ガアリマシテ、觀覽席ノ如何、建物ノ如何、或ハ入場定員ノ如何ト云フヤウナ外形標準ニ依ツテ居ルノデゴザイマスガ、一面又入場料ヲ標準ニシテ居ルモノモゴザイマス、是等ハ府縣市町村ヲ通ズレバ、大體百分ノ五程度ノ標準ニナツテ居ルカト存ジマス、ソレカラ觀覽稅ハ百分ノ十程度徵收シテ居ル所モアルヤウデゴザイマス、綜合勘按シテ見マスルト、此度事變下ノ增稅トシテ國稅デ課稅スル場合ニ於キマシテ、免稅點ヲ十九錢程度ニ致シ、課率ヲ百分ノ十ト致スノガ大體適當デハナカラウカ、斯ウ存ジテ居ル次第デゴザイマス安イ入場料ヲ支拂ッテ觀覽スル者ガ、悉ク奢侈的消費ヲヤッテ居ル者ト考ヘテ居ル譯何トカスルト云フコトガ、最モ銃後國民ノ忠君愛國ノ精神ヲ養成スルト共ニ、ソレヲ毀損セナイト云フ意味ニ於テ必要デハアルマイカト思フ、斯様ナモノデモ尙且ツ微フデハゴザイマセヌ

○稻田委員 幸ニ中村參與官モ見エテ居リマスガ、只今私ガ申上ゲマシタヤウナ意味ニ於テ、五十億圓モ六十億圓モ戰費ガ要ルニテ、一百億、三百億ノ戰費デモ何デモナイト言ウテ居ラル、ヤウナ立前ガアルナラバ、斯様ナ細民ノ、煙草モ酒モ飲マナイヤウナ青年農村ヤ中小商工業者ナドノ多數ノ青年婦女子等ガ活動寫眞ヲ觀ルコトハ、洵ニ酒ヲ飲マザル、煙草ヲ喫ハザル者ノ唯一ノ慰安デアル、サウ云フ者ニ活動寫眞ヲ觀ルニモ稅金ガ課ルト云フヤウナ觀念ヲ與ヘルコトガ宜イカ悪イカ、今ノ局長サンノ御話ニ依リマスト、奢侈的ニハ見テ居ラヌ、一般ニ增稅ヲ負擔スルト云フ風ナ意味ニ於テモ課シタ方ガ宜イダラウト云フ意味デアリマスガ、今回ノ臨時增稅其他ニ依リマシテ、幾多ノ物品稅トカ何トカ出来マシテ、皆ソレハ細民ニ轉嫁サレルノデハナイカト思フ、活動寫眞バカリニ負擔サセルノデハナリト云フコトニナリマスト、活動寫眞以外ニモ亦一般ノ細民、農村ノ婦女子青年ハ物品ヲ買ヒマシテモ負擔スルノデアリマスカ

○中村政府委員 折角ノ御指名デゴザイマスカラ私ラカ申上ゲテ、稻田サンノ御諒承ヲ得タイト存ジマス、入場稅ノ本質ニ付キマシテハ只今主稅局長ヨリ御答申上ゲタ通り

ハ良イコトデスカ、幸ニ友人デアリ、且ツマスカラ、中村參與官ガオ見エニナツテ居リ尊敬スル中村參與官ガアリマシテ、御說明ヲ承リタイト思ヒマス

子等ガ活動寫眞ニ入ル時ニマデモ稅金ヲ微ルト云フヤウナ觀念ヲ與ヘルト云フコトハ良イコトデスカ、幸ニ友人デアリ、且ツマスカラ、中村參與官ガオ見エニナツテ居リ尊敬スル中村參與官ガアリマシテ、御說明

マスカラ、中村參與官ガオ見エニナツテ居リ尊敬スル中村參與官ガアリマシテ、御說明ヲ承リタイト思ヒマス

婦女子カラ活動寫眞ニ入ル時ニマデモ稅金ヲ微ルト云フヤウナ觀念ヲ與ヘルト云フコトハ良イコトデスカ、幸ニ友人デアリ、且ツマスカラ、中村參與官ガオ見エニナツテ居リ尊敬スル中村參與官ガアリマシテ、御說明ヲ承リタイト思ヒマス

斯ウ云フ點カラ入場税モ課セラレタモノデ  
アルト存ズルノデアリマス、成程一見致シ  
マスナラバ、數十億ノ戰費ニ對シテ斯ウ云  
フ細カイモノヲ漁ルト云フコトニ對シテハ、  
論議ノ餘地ガアルトハ思フノデアリマスガ、  
相當ノ増税ヲ行フコトト致シマシタ以上、  
ヤハリ或ル程度斯ウ云フ方面ニモ負擔ヲ願ッ  
テ、所謂度々大藏大臣ヨリ申上ダマシタ如  
ク、一錢カラ出發シテ御負擔ヲ願フト云フ  
コトハ、此時局ノ上ニ於テ必シモ無理デハナ  
イト思フノデアリマス、「ニュース」映畫ノ  
皇軍ノ奮闘ヲ觀ラレタ方々ニ一割ノ課税ヲ  
負擔シテ戴クト云フコトハ、此入場料カラ  
出シタ税ガ纏テハ廻リ廻ツテ皇軍ノ戰費ニ  
ナルト云フ考モ持ツテ戴クコトガ出來ルト  
私ハ思フノデアリマシテ、此點ニ付キマシ  
テ、種々ナ論議ハ出來ルト思ヒマスガ、大  
體妥當ナ方法デハナイカ、斯様ニ存ズル次  
第デアリマス

○稻田委員 只今ノ中村參與官ノ御答辯ニ  
依リマシテ、政府ノ意ノ在ル所ハ大體分リ

マス、併ナガラ廻リ廻ツテ戰費ニナルト云フ  
コトヲ仰セラレマスナラバ、其御趣旨ニ對  
シマシテハ、國民中一人タリトモ其趣旨ニ  
背カウト思フ者ハアリマスマイケレドモ、  
併ナガラ先刻モ申上ゲマシタヤウニ、他ノ

物品ニ課税セラレルモノ悉ク細民ニ轉嫁  
セラレルト云フ意味モアリマスシ、餘リニ  
此税率ガ他ノ税率ニ比シテ高イト思ヒマシ  
テ、其點ニ於キマシテ、政府ハ何等カモウ  
少シ考慮サレタラドウカト思フト云フコト  
ヲ、今ノ中村サンノ御答辯ニ對シテ諒解ス  
ルト同時ニ、一言申上ダテ置キマス

次ニ主税局長ニ御尋致シテ見タイノハ、

今日ノ演劇興行ハ、其性質上立派ナ營業デ

アルニ拘リマセズ、何故今日マデ一般營業

ニ課税シテ居ラレルヤウナ應能課税ニ依ラ

ズシテ、外形標準ト云フ極メテ舊式ナ方法

ニ依ツテ、而モ雜種稅中ノ興行稅トシテ微ッ

テ來ラレタノデアリマスカ

○大矢政府委員 今御話ノ演劇興行稅ハ國

稅デハゴザイマセヌデ、地方稅トシテ課稅セ

ラレテ居ルノデゴザイマス、大正十五年ノ一

般的稅制整理ノ際ニ於キマシテモ、此點ハ

篤ト考究セラレタノデゴザイマスルガ、其

當時ニ於キマシテハ、國稅全般ヲ通ジテ整

理ヲシヨウト云フノデゴザイマシテ、今日

ノヤウニ國稅、地方稅ヲ通ジ、交付金制度

ヲ設ケテ橋渡シラシテヤラウト云フヤウナ

考モナカツタ次第ゴザイマス、隨ヒマシテ

他ノモノハ皆應能課稅ニ依ツテ、斯ウシタ營

業収益稅ヲ課稅スレバ、地方稅トシテ營

業収益ニ關スルモノハヤッテ居ラレタ、此演劇

ノミヲ外形標準ニ依ツテ課稅シテ居ラレタ

スル時間ヲ作リマスカラ……

カト云フコトヲ御尋致スノデアリマス

○大矢政府委員 是ハ内務省ノ方カラ御答

シタ方ガ正確ナコトガ御分リニナルカト思

ヒマスガ、私ノ知ッテ居ル範圍内デ申上ダタ

コトニナツテ居タノデゴザイマス、是ガ

アリ暫ク地方稅ニシテ置カウ、斯ウ云フ

少シ考慮サレタラドウカト思フト云フコト

ヲ、今ノ中村サンノ御答辯ニ對シテ諒解ス

ルト同時ニ、一言申上ダテ置キマス

次ニ主税局長ニ御尋致シテ見タイノハ、

今日ノ演劇興行ハ、其性質上立派ナ營業デ

アルニ拘リマセズ、何故今日マデ一般營業

ニ課税シテ居ラレルヤウナ應能課稅ニ依ラ

ズシテ、外形標準ト云フ極メテ舊式ナ方法

ニ依ツテ、而モ雜種稅中ノ興行稅トシテ微ッ

テ來ラレタノデアリマスカ

○大矢政府委員 今御話ノ演劇興行稅ハ國

稅デハゴザイマセヌデ、地方稅トシテ課稅セ

ラレテ居ルノデゴザイマス、大正十五年ノ一

般的稅制整理ノ際ニ於キマシテモ、此點ハ

篤ト考究セラレタノデゴザイマスルガ、其

當時ニ於キマシテハ、國稅全般ヲ通ジテ整

理ヲシヨウト云フノデゴザイマシテ、今日

ノヤウニ國稅、地方稅ヲ通ジ、交付金制度

ヲ設ケテ橋渡シラシテヤラウト云フヤウナ

考モナカツタ次第ゴザイマス、隨ヒマシテ

他ノモノハ皆應能課稅ニ依ツテ、斯ウシタ營

業収益ニ關スルモノハヤッテ居ラレタ、此演劇

ノミヲ外形標準ニ依ツテ課稅シテ居ラレタ

スル時間ヲ作リマスカラ……

○稻田委員 マダ少シアリマスカラ、サウ

云フコトニ願ヒマセウ

○西村委員長代理 ソレデハ食事ノ時刻デ

スカラ、是デ一時休憩スルコトニ致シタイ  
ト思ヒマス——尙ホ茲ニ諸君ニ御諒解ヲ得  
テ置キタイノハ、本委員會ニ付託セラレテ

既ニ議題ニナツテ居ル所ノ案件ノ中デ、豫算  
關係案件ハ貴族院ニ於テ同案ノ關係案ガ審  
議セラレテ居ルノデアリマス、其關係上成  
ベク早ク本會ニ於テ審議ヲ了ッテ本會議へ

上程セラレタイト云フ政府ヨリノ依頼ガア  
リマス、是ハ無理カラヌコトト思ヒマス、  
仍テ午後ハ此關係ノ三案、昭和十二年法律

第八十四號中改正法律案、關東局、朝鮮  
總督府、臺灣總督府及樺太廳ノ各特別會計  
ニケル租稅收入ノ一部ニ相當スル金額等

ヲ臨時軍事費特別會計ニ繰入ルコトニ關

致シマス、此昭和十二年法律第八十四號中

改正法律案、是ハ臨時軍事費ノ財源トシテ  
三案ニ付キマシテ簡單ニ大藏大臣ニ御尋ヲ

致シマス、此昭和十三年度一般會計歲出ノ  
財源ニ充ツル爲公債追加發行

テ審議ヲ進メ、討論採決ヲ致シタイト思ヒ

マス、左様御準備ヲ願ヒタク、午後ハ一時  
半カラ開クコトニ致シマス——是デ休憩致  
シマス

午後零時三十分休憩

午後二時五分開議

○高橋委員長 午前ニ引續キ開會致シマス、

此場合特ニ只今本委員會ニ付託サレテ居リ  
マスル諸案ノ中デ、昭和十二年法律第八十四  
號中改正法律案、即チ支那事變ニ關スル臨  
時軍事費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件、關

東局、朝鮮總督府、臺灣總督府及樺太廳ノ  
各特別會計ニ於ケル租稅收入ノ一部ニ相當  
スル金額等ヲ臨時軍事費特別會計ニ繰入ル  
ルコトニ關スル法律案竝ニ昭和十三年度一  
般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債追加發行

シ又ハ融通證券ヲ發行スルコトヲ得」トスウ  
マスノハ、公債ヲ發行致シマシテ臨時軍事

費ノ財源ヲ作ルノデアリマスルガ、公債ノ  
發行ヲ少シ遲ラセマシテ、其間一時借入金

ニ關スル法律案、右三案ヲ一括シテ、特ニ  
引離シテ議題ニ供シ、其審議ヲ進メマス

○勝委員 只今審議ヲ進メラレテ居リマス  
三案ニ付キマシテ簡單ニ大藏大臣ニ御尋ヲ

致シマス、此昭和十二年法律第八十四號中  
改正法律案、是ハ臨時軍事費ノ財源トシテ  
ノ四十四億圓ノ公債ノ追加發行ノ法案デア

ルヤウデアリマスガ、此公債ノコトニ付キ  
マシテハ、私ハ他ノ機會ニ於キマシテ屢々私

見ヲ申述べ、殊ニ昨日ノ本會議ニ於キマシ  
テモ希望ハ十分ニ申述べテ置キマシタノ

デアリマスカラ、此際繰返シテハ申シマセ  
ヌ、唯此案ニ付キマシテホンノ事務的ノ問

題ニ付キマシテ、特ニ私ノ分リマセヌコト

ニ付テ二三御尋シテ見タイト思フノデアリ

マス、ソレハ第三條ニ「政府ハ臨時軍事費出  
納上必要アル場合ニ於テハ一時借入金ヲ爲

シ又ハ融通證券ヲ發行スルコトヲ得」トスウ  
アルノデアリマスガ、之ニ付テ少シ進ンデ

ト思ヒマス——尙ホ茲ニ諸君ニ御諒解ヲ得  
テ置キタイノハ、本委員會ニ付託セラレテ

既ニ議題ニナツテ居ル所ノ案件ノ中デ、豫算

關係案件ハ貴族院ニ於テ同案ノ關係案ガ審  
議セラレテ居ルノデアリマス、其關係上成  
ベク早ク本會ニ於テ審議ヲ了ッテ本會議へ

上程セラレタイト云フ政府ヨリノ依頼ガア  
リマス、是ハ無理カラヌコトト思ヒマス、  
仍テ午後ハ此關係ノ三案、昭和十二年法律

第八十四號中改正法律案、關東局、朝鮮  
總督府、臺灣總督府及樺太廳ノ各特別會計  
ニケル租稅收入ノ一部ニ相當スル金額等

ヲ臨時軍事費特別會計ニ繰入ルコトニ關

致シマス、此昭和十三年度一般會計歲出ノ  
財源ニ充ツル爲公債追加發行

シ又ハ融通證券ヲ發行スルコトヲ得」トアリ  
マスノハ、公債ヲ發行致シマシテ臨時軍事

費ノ財源ヲ作ルノデアリマスルガ、公債ノ  
發行ヲ少シ遲ラセマシテ、其間一時借入金

ニ關スル法律案、右三案ヲ一括シテ、特ニ  
引離シテ議題ニ供シ、其審議ヲ進メマス

○勝委員 只今審議ヲ進メラレテ居リマス  
三案ニ付キマシテ簡單ニ大藏大臣ニ御尋ヲ

致シマス、此昭和十二年法律第八十四號中  
改正法律案、是ハ臨時軍事費ノ財源トシテ  
ノ四十四億圓ノ公債ノ追加發行ノ法案デア

ルヤウデアリマスガ、此公債ノコトニ付キ  
マシテハ、私ハ他ノ機會ニ於キマシテ屢々私

見ヲ申述べ、殊ニ昨日ノ本會議ニ於キマシ  
テモ希望ハ十分ニ申述べテ置キマシタノ

デアリマスカラ、此際繰返シテハ申シマセ  
ヌ、唯此案ニ付キマシテホンノ事務的ノ問

題ニ付キマシテ、特ニ私ノ分リマセヌコト

ニ付テ二三御尋シテ見タイト思フノデアリ

マス、ソレハ第三條ニ「政府ハ臨時軍事費出  
納上必要アル場合ニ於テハ一時借入金ヲ爲

シ又ハ融通證券ヲ發行スルコトヲ得」トスウ  
アルノデアリマスガ、此數箇月ノモノニ付キマシ  
テハ、是ハモウ少シ戰費ノ撒布ガ進ンデ來

マスト、場合ニ依ツテハ必要デアラウカト  
思フノデアリマス、ト申シマスルノハ金融

機關等ニ色々貯金、預金其他資金ガ集マリ  
マシタ場合ニ、之ヲ固定的ニ長期ノ貸出、

シ又ハ融通證券ヲ發行スルコトヲ得」トアリ  
マスノハ、公債ヲ發行致シマシテ臨時軍事

費ノ財源ヲ作ルノデアリマスルガ、公債ノ  
發行ヲ少シ遲ラセマシテ、其間一時借入金

ニ關スル法律案、右三案ヲ一括シテ、特ニ  
引離シテ議題ニ供シ、其審議ヲ進メマス

○勝委員 只今審議ヲ進メラレテ居リマス  
三案ニ付キマシテ簡單ニ大藏大臣ニ御尋ヲ

致シマス、此昭和十三年度一般會計歲出ノ  
財源ニ充ツル爲公債追加發行ニ關スル法律  
案、此三件ヲ午後ニ特ニ切離シテ上程致シ  
テ審議ヲ進メ、討論採決ヲ致シタイト思ヒ  
マス、左様御準備ヲ願ヒタク、午後ハ一時  
半カラ開クコトニ致シマス——是デ休憩致  
シマス

トカ何トカ云フヤウナモノハ、只今デハ割  
合ニ發行シ得ベキ、或ハ發行スルノガ適當

シ又ハ融通證券ヲ發行スルコトヲ得」トスウ  
ナリト云フ場合ハ未ダ想像ハシニクイノデ  
アリマスルガ、此數箇月ノモノニ付キマシ  
テハ、是ハモウ少シ戰費ノ撒布ガ進ンデ來

マスト、場合ニ依ツテハ必要デアラウカト  
思フノデアリマス、ト申シマスルノハ金融

機關等ニ色々貯金、預金其他資金ガ集マリ  
マシタ場合ニ、之ヲ固定的ニ長期ノ貸出、

シ又ハ融通證券ヲ發行スルコトヲ得」トアリ  
マスノハ、公債ヲ發行致シマシテ臨時軍事

費ノ財源ヲ作ルノデアリマスルガ、公債ノ  
發行ヲ少シ遲ラセマシテ、其間一時借入金

ニ關スル法律案、右三案ヲ一括シテ、特ニ  
引離シテ議題ニ供シ、其審議ヲ進メマス

○勝委員 只今審議ヲ進メラレテ居リマス  
三案ニ付キマシテ簡單ニ大藏大臣ニ御尋ヲ

致シマス、此昭和十三年度一般會計歲出ノ  
財源ニ充ツル爲公債追加發行ニ關スル法律  
案、此三件ヲ午後ニ特ニ切離シテ上程致シ  
テ審議ヲ進メ、討論採決ヲ致シタイト思ヒ  
マス、左様御準備ヲ願ヒタク、午後ハ一時  
半カラ開クコトニ致シマス——是デ休憩致  
シマス

トカ何トカ云フヤウナモノハ、只今デハ割  
合ニ發行シ得ベキ、或ハ發行スルノガ適當

シ又ハ融通證券ヲ發行スルコトヲ得」トスウ  
ナリト云フ場合ハ未ダ想像ハシニクイノデ  
アリマスルガ、此數箇月ノモノニ付キマシ  
テハ、是ハモウ少シ戰費ノ撒布ガ進ンデ來

マスト、場合ニ依ツテハ必要デアラウカト  
思フノデアリマス、ト申シマスルノハ金融

機關等ニ色々貯金、預金其他資金ガ集マリ  
マシタ場合ニ、之ヲ固定的ニ長期ノ貸出、

シ又ハ融通證券ヲ發行スルコトヲ得」トアリ  
マスノハ、公債ヲ發行致シマシテ臨時軍事

費ノ財源ヲ作ルノデアリマスルガ、公債ノ  
發行ヲ少シ遲ラセマシテ、其間一時借入金

ニ關スル法律案、右三案ヲ一括シテ、特ニ  
引離シテ議題ニ供シ、其審議ヲ進メマス

○勝委員 只今審議ヲ進メラレテ居リマス  
三案ニ付キマシテ簡單ニ大藏大臣ニ御尋ヲ

致シマス、此昭和十三年度一般會計歲出ノ  
財源ニ充ツル爲公債追加發行ニ關スル法律  
案、此三件ヲ午後ニ特ニ切離シテ上程致シ  
テ審議ヲ進メ、討論採決ヲ致シタイト思ヒ  
マス、左様御準備ヲ願ヒタク、午後ハ一時  
半カラ開クコトニ致シマス——是デ休憩致  
シマス

トカ何トカ云フヤウナモノハ、只今デハ割  
合ニ發行シ得ベキ、或ハ發行スルノガ適當

シ又ハ融通證券ヲ發行スルコトヲ得」トスウ  
ナリト云フ場合ハ未ダ想像ハシニクイノデ  
アリマスルガ、此數箇月ノモノニ付キマシ  
テハ、是ハモウ少シ戰費ノ撒布ガ進ンデ來

マスト、場合ニ依ツテハ必要デアラウカト  
思フノデアリマス、ト申シマスルノハ金融

機關等ニ色々貯金、預金其他資金ガ集マリ  
マシタ場合ニ、之ヲ固定的ニ長期ノ貸出、

シ又ハ融通證券ヲ發行スルコトヲ得」トアリ  
マスノハ、公債ヲ發行致シマシテ臨時軍事

費ノ財源ヲ作ルノデアリマスルガ、公債ノ  
發行ヲ少シ遲ラセマシテ、其間一時借入金

ニ關スル法律案、右三案ヲ一括シテ、特ニ  
引離シテ議題ニ供シ、其審議ヲ進メマス

○勝委員 只今審議ヲ進メラレテ居リマス  
三案ニ付キマシテ簡單ニ大藏大臣ニ御尋ヲ

ハ、金融機關ノ資金ガ多クナリマスレバ、サウ云フ放資物ガ餘計要ツア、今ノ米穀證券ダケデハ足リナクナル、米穀ガ豐作デ非常ニ澤山買上デモアリマスレバ米券ガ出マスガ、今米券ハ左程甚シク増加シナイ、ソコ大藏省證券ト云フモノモ一般會計ニアリマス、是ハ事實上發行スル機會ガ少イト同時ニ、アレバ一年度間ノ收支ノ調節ニナッテ居リマスル爲ニ、年度デモ跨リマスヤウナ場合ニハ、又使ヘナイ場合ガアリマス、此會計ハ其年度ノ區分ガアリマセヌ、サウ云フ場合二三月ト四月ノ區切りニ跨ッテ、一月カ二月頃ニ半年物ヲ出ストカ、四箇月物ヲ出スト云フ風ナコトノ爲ニハ、此會計ニアッタ方ガ便利デアリマス、ソレガ所謂本當ノ公債ニ後デ直ルト云フコトニナレバ、其方ガ更ニ都合ガ好イノデアリマス、サウ云フコトガ必ズアルト云フノデハアリマセヌガ、サウ云フ途ヲ開イテ置クト、其途ガ必要ニナル場合ノ可能性ガ相當考ヘラレルノデ、其途ヲ開キタイ、斯様ナ趣旨デゴザイマス

○勝委員 其點ハ諒解致シマシタガ、大藏省證券ナラバ、年度内デ償還シナケレバナラナイ、融通證券ト云フコトデアレバ、是ハ臨時軍事費ニハ年度ガナイカラト云フコトニテ、是澤山買上デモアリマスレバ米券ガ出マス、是ハ事實上發行スル機會ガ少イト同時ニ、アレバ一年度間ノ收支ノ調節ニナッテ居リマスル爲ニ、年度デモ跨リマスヤウナ場合ニハ、又使ヘナイ場合ガアリマス、此會計ハ其年度ノ區分ガアリマセヌ、サウ云フ場合二三月ト四月ノ區切りニ跨ッテ、一月カ二月頃ニ半年物ヲ出ストカ、四箇月物ヲ出スト云フ風ナコトノ爲ニハ、此會計ニアッタ方ガ便利デアリマス、ソレガ所謂本當ノ公債ニ後デ直ルト云フコトニナレバ、其方ガ更ニ都合ガ好イノデアリマス、サウ云フコトガ必ズアルト云フノデハアリマセヌガ、サウ云フ途ヲ開イテ置クト、其途ガ必要ニナル場合ノ可能性ガ相當考ヘラレルノデ、其途ヲ開キタイ、斯様ナ趣旨デゴザイマス

○賀屋國務大臣 前ノ御疑問ノ大藏省證券、既ニ通過致シマシタ豫算ノ大藏省證券ト云フモノヲ出サナクテモ、大藏省證券デ澤山デハナイカト云フニツノ疑問ガ起ツテ來ル譯デスガ、ソレハ如何デスカ

○賀屋國務大臣 前ノ御疑問ノ大藏省證券ハ會計法ノ大藏省證券ノ規定ニ依ル發行ヲ豫算ニ定メタルモノデアリマス、今申上げス

○賀屋國務大臣 左様デゴザイマス

○賀屋國務大臣 ソレデハ此融通證券ノ出シ方ハ利附デ御出シニナリマスカ、割引證券デ御出シニナリマスカ

○賀屋國務大臣 割引證券ニナルト思ヒマス

○賀屋國務大臣 隨テ課稅ノ取扱ニ於キマシテ計繕入レタイト云フコトカラ八掛ト致シタ次第デアリマス

○賀屋國務大臣 此度ノ外地ニ於ケル增稅新稅

トデゴザイマスガ、臨時軍事費ハ年度ガナイカラ、大藏省證券ト云フ名前デ御發行ニナッテモ、當然年度ヲ跨ッテ發行ガ出來ルノデハナイカ、斯ウ私ハ思ツタモノデスカラ、何モ融通證券ナンテ言ハナクトモ、黙ツテ居ツテモ、年度ニ跨ッタ大藏省證券ガ出セルモウ一つハ此融通證券デ集メタ金ハ、臨時軍事費特別會計ノ歲入ヲ以テ之ヲ償還シナケレバナラナイト云フ條件ガ附イテ居ル、ソコデ此臨時軍事費ノ特別會計ト云フモノハ出シマス、サウシテ其借換ハ國債整理基金ニ依ル、サウスレバ借換ト云フモノハ眼ノ前ニ起リマス、國債整理基金法第五條デ参リマス、是ハ寧ロ一年以内ノ短期證券ニハ出シマス、ソレデハナイカ、ソコガ或ハ私ガ考出シテアッテ、長ク出來ルカモ知レマセヌガ、若シ臨時事件ノ續ク間デナケレバナラナイト云フコトニナレバ、二年モ三年モト云フヤウナ意味ノ長イ融通證券ハ出セナイノデハナイカ、サウナッテ來レバ益、融通證券ト云フモノヲ出サナクテモ、大藏省證券デ澤山デハナイカト云フニツノ疑問ガ起ツテ來ル譯デスガ、ソレハ如何デスカ

○賀屋國務大臣 是ハ普通ナラバ徵稅費ヲベレバ短イノデアリマセウガ、極ク短イ期間ノモノヲ狙ツテオ居デニナル、マア一年以内ト云フ位ナ見當ノモノデアルト了解シテ宜イノデアリマスカ

○賀屋國務大臣 左様デゴザイマス

○賀屋國務大臣 ソレデハ此融通證券ノ出シ方ハ利附デ御出シニナリマスカ、割引證券デ御出シニナリマスカ

○賀屋國務大臣 割引證券ニナルト思ヒマスガ、此事件ニ關係ヲ致シマシテ外地ノ特別會計ニモ色々經費ノ要ルコトガアルノデアリマス、ソレデ外地ノ特別會計ノ歲計ノ事情ヲ考慮シテ二割ダケラ留保シテ、サウ云フモノノ財源ニ、是モ全部ニハ當リマスマシタヤウニ、年度ヲ越エルヤウナモノハ

ハ、大體内地ノ増稅新稅ト略、比例ヲ取ツタ課稅デ行カレルヤウデアリマスガ、嘗テ私調ベタコトガアルノデスガ、此問題ハ豫算總會ニ於テ矢野君モ御尋ニナリ、此委員會デドナタカモ御尋ニナツノデアリマスガ、内地ト外地ノ住民ノ負擔關係ハドウナツテ居ルカト云フコトヲ始終私考ヘテ居ルノデアリマス、是ハ謂ヘマ大藏大臣ニ御加勢申上ゲル質問ニナルノデアリマスガ、多少數字ハ達フカモ知レマセヌガ、内地ノ人口一人當リノ租稅負擔額、即チ國稅、地方稅ノ負擔額ハ平均ガ大體二十七圓デアリマス、ソレカラ朝鮮ガ四圓六十二錢、臺灣ガ八圓六十七錢、滿洲ハ極ク少クテ一圓八十九錢ト云フヤウナ數字ニナツテ居ルヤウデアリマス、是ハ民度モ違フカラ、相當ノ開キガアルノハ適當デアリマセウケレドモ、何ト考ヘテ見テモ外地ノ租稅負擔額ガ内地ノソレニ比シテ少シ低過ギルノデハナイカ、斯様ナコトヲ申シマスノハ、今後益々我國ハ戰後ノ經營トシテ、國債ノ償還其他ニ又第二次第三次ノ增稅ト云フモノガ豫想セラル、ノデアリマスガ、其場合ニハ相當内地ノ負擔ト云フコトモ御考ニナラナケレバナラヌデヤナイカ、例ヘバ同ジ内地モ比較的擔稅力ノ弱サウニ見エル府縣ヲ拾テ見マスレバ、北

海道ノ如キデモ地方稅ト國稅トヲ割付ケテ  
見ルト、人口一人當リガ北海道ハ十三圓五  
十三錢、宮崎縣ガ十二圓十九錢、沖繩縣デ  
シテ居ル、然ルニ朝鮮ハ四圓六十二錢デア  
リ、満洲ハ一圓八十九錢デアルト云フコト  
ハ、可ナリニ開キガ大キイノデハナイカ、  
是ハ新附ノ民デアリ、民度モ低イカラ相當  
考慮モシナケレバナリマスマイガ、是ダケ  
ノ開キノアルト云フコトヲ、大藏省ハ少シ  
頭ノ中ニ御置キニナリマシテ、將來ノ增稅  
計畫ノ時ニハ御考ヲ願ツタラ如何デアラウ  
カト云フコトヲ、豫ネド考ヘテ居ルノデ  
アリマス、ソレデ此機會ニ於キマシテ御心  
付マデニ申上ゲテ置キマス、ソレカラ昭和  
十三年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公  
債追加發行ニ關スル件、是ハ追加豫算其他  
ニ關係スルゴトデアリマスガ、當然ノコト  
デアツテ、別段御尋スルコトハアリマセヌ、  
私ハ以上ノ御尋ダケデ質問ヲ打切りマス  
○高橋委員長 東條君

○東條委員 一般公募ノ公債ヲ募集セラレ  
ル場合ハ、全國各地ニ大體割當テ、募集ヲ  
シテ居ラレルノデアリマセウガ、是ハ何ヲ  
標準ニシテ割當ヲシテ居ラレマセウカ

○賀屋國務大臣 從來公債ヲ公募致シマス

ル場合ニハ、大體金融業者ノ國債引受團ニ  
話シマシテ、ソレニ適當ニ其資力ニ應ジテ  
フ振リ合ノ方法モ執レマセヌノデ、所謂郵  
便局賣出ヲ只今ヤツテ居リマスルト、サウ云  
合ニ依リマシタラ、銀行等ニ於テ其御意思  
ガアリマスナラバ、ヤハリ銀行ノ賣出ト云  
フコトニ致サナケレバナリマセヌノデ、一  
般ノ個人相手デアリマスルト、所謂割當ト  
云フコトハ相當困難デアラウト思ヒマス、  
發行ニ致シマシテモ賣出ト同ジヤウナ實體  
ニナルヤウナ方法デ行カナクテハナラヌデ  
ハナイカト思ヒマス、今後ノ所謂公募ト申シ  
マスル中ニベ、今ノ國債「シンヂゲート」團、  
サウ云フ有力ナ銀行ヲ相手ニ致シマシタ公募  
モ、場合ニ依ッテハ是ハ金融ガ緩漫ニナリマシ  
タラ行ヒタイ、斯ウ云フ風ニ思テ居リマス  
○東條委員 私ノ問ヒ方ガ少シ簡單過ギタ  
ノデアリマスガ、郵便局デ賣出サレマスモ  
ノヲ、全國各地ノ郵便局ヘ割當テラレルノ  
ハ、大體何ヲ標準シテ割當ヲシテ居ラレマ  
スカト云フコトデアリマス

行ツテ居ルト思ヒマス、各郵便局ノコトデア  
リマスカラ、大藏省ノ方デサウ々詳細ノ  
コトハヤリマセヌ、場合ニ依リマシタラ或  
ハ多少納稅額トカ、サウ云フ参考ノ資料ヲ  
遞信省ノ方ニ出シテ居ルカモ知レマセヌガ、  
大體遞信省ノ方デ適宜割當テ、出シテ居ル、  
尙ホ實情ニ應ジテ賣行ノ少イ所カラ多イ方  
ヘ又途中デ様子ニ依ツテ變更スル、斯ウ云フ  
ヤリ方デアルト存ジマス

デアリマス、サウデナク一般ニ金縲リノ上ニ非常ニ偏重ヲ來シテ居リマス場合ニ、又地方等デ其地方ニ金ヲ使ヒマスル事業ハ緊縮緊縮デ切詰メラレテ居リ、軍需工業ノ關係ノナイ地方デハ、銃後ノ後援等デ負擔モ重クナリマシテ、金融ガ非常ニ引締ッテ來ル形ガアルノデアリマスカラ、郵便局ヲ通ジテ賣出サレル場合ニ於キマシテモ、其地方ノ狀況ヲ見テ適當ニ按排ヲ致シマセヌト、サウデナクテモ困ツテ居リマスル地方ノ資金ガ益、潤渴スルヤウナコトニナルト考ヘルノデアリマス、是等ニ付テハ唯預金ノ額デアルトカ云フヤウナコトノミヲ標準ニセズニ、現在ノ經濟界ノ狀況ト云フモノヲ能ク考慮ニ入レラレテ、殊ニ地方ノ中以下ノ金融ナドニ成ベク壓迫ヲ感ゼシメナイヤウニ、適當ナル割當ヲサレルコトガ必要ダト考ヘマスガ、之ニ付テ何カ御考ガアリマスレバ伺ヒタイト思ヒマス

### ○賀屋國務大臣

只今ノ御話ハ私全ク御尤ニ存ジマス、公債ヲ愛國心ノ餘リ、又ハ所

所謂義理デ無理ニ買ハセルト云フヤウナコ

トノ御話ハ、サウデアリマセヌデモ結果

ガサウ云フコトニ陥リマシタナラバ、却テソレガ爲ニ非常ナ害ガアルノデアリマス、

是ハ段々一回二回ト重ネマスルニ從ツテ

ニ偏重ヲ來シテ居リマス場合ニ、又地方等デ其地方ニ金ヲ使ヒマスル事業ハ緊縮緊縮デ切詰メラレテ居リ、軍需工業ノ關係ノナイ地方デハ、銃後ノ後援等デ負擔モ重クナリマシテ、金融ガ非常ニ引締ッテ來ル形ガアルノデアリマスカラ、郵便局ヲ通ジテ賣出サレル場合ニ於キマシテモ、其地方ノ狀況ヲ見テ適當ニ按排ヲ致シマセヌト、サウデナクテモ困ツテ居リマスル地方ノ資金ガ益、潤渴スルヤウナコトニナルト考ヘルノデアリマス、是等ニ付テハ唯預金ノ額デアルトカ云フヤウナコトノミヲ標準ニセズニ、現在ノ經濟界ノ狀況ト云フモノヲ能ク考慮ニ入レラレテ、殊ニ地方ノ中以下ノ金融ナドニ成ベク壓迫ヲ感ゼシメナイヤウニ、適當ナル割當ヲサレルコトガ必要ダト考ヘマスガ、之ニ付テ何カ御考ガアリマスレバ伺ヒタイト思ヒマス

### ○賀屋國務大臣

預金部ニ於キマシテハ公

債ノ引受額ハ、今ノヤウナ時デアリマスル

ニ、現

在ノ經濟界ノ狀況ト云フモノヲ能ク

考慮ニ入レラレテ、殊ニ地方ノ中以下ノ金

融ナドニ成ベク壓迫ヲ感ゼシメナイヤウニ、

適當ナル割當ヲサレルコトガ必要ダト考ヘ

マスガ、之ニ付テ何カ御考ガアリマスレバ

伺ヒタイト思ヒマス

状況モ分ツテ參リマス、又サウ云フ趣旨ガ各

郵便局ニ徹底スルコトト思ヒマス、サウ云

フコトノ起リマセヌヤウニ、精々注意致シ

テ参リタイト存ジマス

### ○東條委員

ソレカラ軍需工業ノ殷賑ガ、

國民精神總動員運動ノ徹底等ニ依リマシ

テ、預金部ノ資金ハ可ナリ高率ナル速度デ

段々殖エテ來ルコトト思ヒマスガ、預金部

デ公債ヲ引受ケラレル額ト申シマスカ、

率ト申シマスカ、段々擴張ヲシテ行カレル

ヤウナ御考ガアリマセウカ

云フヤウナ形ニナリマスト、比較的ニ此軍

需工業等ニ依ツテ繁昌ラシ其影響ヲ受ケル

方面デナイン、ドチラカト云フト時局關係デ

行詰リマス方ノ方面ニ、非常ナ差支ヲ生ズ

ル結果ニナルト考ヘルノデアリマス、是等

ノ按排ニ付テハ、特ニ深甚ナル御考慮ヲ願

ハナケレバナラスト云フヤウナ廳舍ノ建築

デアトカ云フ風ナモノハ、特ニ手嚴シクス

ル、大體サウ云フ考デヤツテ居リマス、尙

ホ御話ノヤウナ點ハ能ク注意ヲシテ參リマ

セウ

來カラ放資シテ居ラレル公共團體或ハ地方

ガ現レテ居リマスノデ、公債引受ノ爲ニ其

方ニ餘リニ多ク力ヲ入レラレマス爲ニ、從

ノ管轄カモ知レマセヌケレドモ、大藏省ノ

方ノ御立場カラ、サウ云フコトヲ實現ラサ

シテ行カウト云フ御考ハアリマセヌカ

○賀屋國務大臣 今後ハドウシテモ十分ニ

貯蓄獎勵ヲヤリマシテ、非常ニ大難把ナ言

ヒ方デ申上ゲマスレバ、四十八億ノ戰費ガ

アレバ、ソレダケハ貯蓄ニ歸ルト云フ位ノ

行キ方ヲシナケレバナラヌ譯デアル、又無

論必要ナ産業資金ニ向ケ、同時ニ公債ニモ

向ケナケレバナラヌト云フノデ、成ベク經

費ハ使ヒタクナイノデアリマスガ、サウ云

フ譯ニモ參リマセヌノデ、貯蓄ノ獎勵ニ關

シマシテ、今後出シマス追加豫算デ多少ノ

経費ヲ御審議ヲ願ハナクテハナラヌカト

思ツテ居リマス、其中ノ經費ニ——是ハマ

ダ確定ハ致シマセヌガ、ソレヲヤッテ居リ

マス部局デハ、丁度御話ノ保管料ヲ少シ値

下ヲシタラドウカ、ソレニハ、遞信省ノ通

信事業特別會計ニ屬シテ居ルカラ、遞信省

ノ方デ下ゲレバ結構デアリマス、場合ニ依レ

バ一般會計カラ幾ラカ負擔ヲシテモヤラナ

ケレバナラヌデハナイカト云フヤウナコト

ヲ只今研究ヲ致シテ居リマス、マダ愈、サウ

云フコトニ致シマスカドウカハッキリハ申

上ガラレマセヌガ、丁度ソレハヤッテ居ル

所デアリマス

○東條委員 私ノハ是デ宜シウゴザイマス

○高橋委員長 板谷君

○板谷委員 私ハ此機會ニ大臣ノ御所見ヲ

伺ツテ置キタイノデアリマス、從來貯蓄銀行

ガ御承知ノ通リ預金ニ對シテ免稅ニナッテ

居リマス、然ルニ五十萬圓デモ百万圓デモ

多額ノ預金ヲスル者ガ相當ニアルヤウニ聞

イテ居ルノデアリマスガ、公債ヲ持ツトカ

持タセルトカト云フヤウナコトニ付テ、貯

蓄銀行ノ預金ニ對スル免稅ニ付テハ何カ特

殊ノ事情ガアツテ、未ダニ御改正ニナラヌ

ノデアリマスカ、其點ヲ一寸承ッテ置キマ

ス。

當ナル例ヘバ其金額ヲ制限シテ、ソレ以上

ノ預金ニ對シテハ課稅スルトカ、何等カ適

當ナ方法ヲ御考ニナルノガ適切ヂヤナイカ

ト、斯ウ思フノデス、マア御研究中デアル

ト言ヘバ、ソレ迄デアリマスケレドモ、是

ハ御承知ノ通リ多年ノ懸案デ、未ダ其問題

ハ解決サレテ居ラヌノデアリマス、ソレカ

ラ尙ホモウ一點伺ッテ置キタイノハ、御承

知ノ通り、從來此保險會社ハ餘リ公債ヲ持ツ

テ居ラヌ、持ツテ居ラヌト云フコトハ、要

ノモノヲ集マルト云フ立前ニナッテ居リマ

馬場大藏大臣ノ時モ、又臨時增徵ノ時ニモ

其話ガ出マシタ、併シ大體貯蓄銀行ハ零零碎

スルシ、大キイモノモ相當ニアリマスルガ、

ソレハ比較的例外デアルト云フコトニナッ

テ居リマスノデ、結局貯蓄銀行預金ノ利子

ニハドウモ課稅ヲ致スト云フ結論ニハ只今

トシテハナッテ居リマセヌ、是ハ内輪ノ話

定ノ額以上ハ、ソレハ課稅ヲシテモ宜イチヤナイカト云フコトハ起リ得ルコトデアリマス、尙ほ此點ハ將來研究ヲ致スコト、致シタイト存ジマス

○板谷委員 併シ是ハ多年ノ問題トナッテ居ルヤウデスガ、政府トシテハ、出來ルダケ、有ユル方面カラ稅ヲ取ラナケレバナラヌト云フヤウナ御方針デアリマスノデ、適

當ナル例ヘバ其金額ヲ制限シテ、ソレ以上

ノ預金ニ對シテハ課稅スルトカ、何等カ適

當ナ方法ヲ御考ニナルノガ適切ヂヤナイカ

ト、斯ウ思フノデス、マア御研究中デアル

ト言ヘバ、ソレ迄デアリマスケレドモ、是

ハ御承知ノ通リ多年ノ懸案デ、未ダ其問題

ハ解決サレテ居ラヌノデアリマス、ソレカ

ラ尙ホモウ一點伺ッテ置キタイノハ、御承

知ノ通り、從來此保險會社ハ餘リ公債ヲ持ツ

テ居ラヌ、持ツテ居ラヌト云フコトハ、要

ノモノヲ集マルト云フ立前ニナッテ居リマ

スルニ被保險者ニ對シテ、或ル程度ノ配當

ヲセナケレバナラヌ關係、一面株ヲ以テ產

業資金ニ對スル放資ヲスルト云フヤウナ關

係ニ於テ、餘リ公債ヲ持タナカッタノデアリ

ガ他ノモノト競争ヲスルト云フ立場ニ立ツ

テハイカナインデ、結局三ツトモ消化サレ

ナケレバイカヌト云フ・狀況ニナッテ、寧ロ公

債ノ方ハ幾ラカ遲レテモ宜イト云フ考ヲ持ツ

テ居ル位デアリマス、保險會社其モノニ付キマ

シテハモウ少し公債ヲ持ツ方ガ適當ナリト

云フコトニナッテ居ルノデアリマシテ、段々ニ

縣ニ是ガ分布サレルト云フコトニナレバ、

隨テ各保險會社ニモ相當ニ、或ハ強制的ト

言ヘバ語弊ガアルカモ知レマセヌガ、サウ

ウ云フヤウナ問題ガ起リ得ルト思フ、サウ

ナツタ場合ニ於テハ、產業資金ニ重大ナル影

響ガ來ルト思フノデアリマスルガ、之ニ對

シテハドンナ風ナ御考ヲ持ツテ居ラレルノ

デスカ、伺ヒタイト思ヒマス

○賀屋國務大臣 只今ハ御承知ノ如ク一

部ノ人ニハ氣ノ毒デアリマスルガ、資金調

整法ニ依リマシテ、時局ノ爲ニ必要ナル方

面ニ事業ノ擴張ヲ限ッテ居リマスノデ、隨テ

此產業資金ヲ枯渴サスト云フ考ハ毫モ無イ

ノデアリマス、他ノ機會ニモ申上ゲマシタ

如ク、寧ロ私ハ產業資金、廣イ意味デ株ノ

拂込モ、社債モ入リマスガ、サウ云フモノ

ヲ抑ヘテ、公債ノ消化ヲ圖リマシテモ、ヤ

ハリソレハ片手落デ、此事變下ノ國家ノ仕

事ヲ圓滿ニ運行スル途デナイン、公債ノ消化

ガ他ノモノト競争ヲスルト云フ立場ニ立ツ

テハイカナインデ、結局三ツトモ消化サレ

ナケレバイカヌト云フ・狀況ニナッテ、寧ロ公

債ノ方ハ幾ラカ遲レテモ宜イト云フ考ヲ持ツ

テ居ル位デアリマス、保險會社其モノニ付キマ

シテハモウ少し公債ヲ持ツ方ガ適當ナリト

云フコトニナッテ居ルノデアリマシテ、段々ニ

サウ云フ 話合モ進ミ、ソレデナクトモ昨年ア  
タリカラ保険業者ノ方デ、サウ云フ方ニ進  
ンデ居ルノデアリマスガ、保険會社ノ方デモ  
色々ナ點ガアリマスカラ、サウ一擧ニ何割  
ニ達スルト云フコトデハ困ル、徐々ニ増シ  
テ行クト云フコトデアリマス、全體ト致シ  
マシテハ今申上ゲマシタヤウニ、例ヘバ昨  
年ハ資金調整法ニ於キマシテモ、興業債券  
ノ十億ノ發行ニ五億ヲ増シマシテ、金資金  
デ二億五千万圓モ直チニ出シテ居リマスヤ  
ウナ狀況デアリマス、是ハ全體トシテ產業  
資金ヲ壓迫スルト云フ考ハ決シテナイノデ  
アリマスルカラ、今ノヤウニ保険會社デ假  
令一部減リマシテモ、他ノモノヲ向ケル、  
唯保險會社ハ全部株デアッテ、他ハ全部公債  
ト云フ風ニモ參リマセヌノデアリマス、其  
邊ハ實際ノ話合デ適當ニヤッテ行キタイ、斯  
ウ考ヘテ居リマス

○板谷委員 モウ一點伺ッテ置キタイノデ  
アリマスガ、私ハ昨年ノ臨時議會ノ增稅案  
ノ際、割増金附ノ小口公債ヲ發行スル御意  
思ガアルカドウカト云フコトヲ伺ッタノデア  
リマスガ、其際大臣ハ、今ノ所サウ云フ考  
ハナイト云フコトデアッタガ、其後此小口公  
債ト云フモノハ發行サレテ居ルノデアリマ  
ス、デアリマスカラ割増金ニ付キマシテ何  
ニ賣レテ居ルノデアリマス、割増金ハ、是  
ハ理窟カラ申セバ、他ニ議論ガアリマスヤ  
ウニ、斯ウ云フ射悻心ヲ挑發スルヤウナモノ  
ハ出サヌ方ガ宜シトイ云フノデ、原則トシ  
テハ出サヌ積リデアリマスガ、昨年御協贊  
ヲ得マシタ法律ノ中ニモ、勸業銀行ヲシテ、  
勸業債券ヲ割増金附デ發行セシメル、又一  
方非常ニ軍需工業其他デ資金ガダブツキ、  
或ル階級ノ所得ガ相當殖エマス場合ニ、割  
増金附ノ債券デ以テサウ云フモノヲ吸收ス  
ルノガ、適當ナ手段デアルト云フコトモ考  
ヘラレマスノデ、其發行ノ協贊ヲ經マシテ、  
ノ陸海軍軍人ノ俸給等ハソレ程デモナイン  
デアリマスガ、例ヘバ直接物件費デアリマ  
シテモ、能ク普通ニ工賃ガ半分デ材料ガ半  
分ダト云フヤウナ話モアリマシテ、又材料  
ガ半分ダト云フ其材料モ自然ノ原料ニ相當  
工賃ガ入ッタ分ガアリマス、サウ云フ意味デ  
申上ゲマスト、是ハ人件費ト云フ言葉ガ適  
當デナイノデアリマスガ、俸給以外ニ勞力  
ニ對スル報酬ニナル性質ノモノガ非常ニ多  
イト思ヒマス、ソレカラ後ノ御話ノ所謂論  
功行賞ノ經費ハ其中ニ入ッテ居リマセヌ、唯  
軍人ノ死亡ガアリマシタ場合ニ、戰役ニ關  
スル死亡賜金ハ其中ニ入ッテ居リマス、所謂

カ御考ハアリマセヌカ

○賀屋國務大臣 今ハ御承知ノヤウニ一般

ニ賣出シマス公債ノ小サイモノハ二十五圓

卷デアリマス、是ハ郵便局デ賣出シテ相當

ハ理窟カラ申セバ、他ニ議論ガアリマスヤ

ウニ、斯ウ云フ射悻心ヲ挑發スルヤウナモノ

ハ出サヌ方ガ宜シトイ云フノデ、原則トシ

テハ出サヌ積リデアリマスガ、昨年御協贊

ヲ得マシタ法律ノ中ニモ、勸業銀行ヲシテ、

勸業債券ヲ割増金附デ發行セシメル、又一

方非常ニ軍需工業其他デ資金ガダブツキ、

或ル階級ノ所得ガ相當殖エマス場合ニ、割

増金附ノ債券デ以テサウ云フモノヲ吸收ス

ルノガ、適當ナ手段デアルト云フコトモ考

ヘラレマスノデ、其發行ノ協贊ヲ經マシテ、

ノ陸海軍軍人ノ俸給等ハソレ程デモナイン

デアリマスガ、例ヘバ直接物件費デアリマ

シテモ、能ク普通ニ工賃ガ半分デ材料ガ半

分ダト云フヤウナ話モアリマシテ、又材料

ガ半分ダト云フ其材料モ自然ノ原料ニ相當

工賃ガ入ッタ分ガアリマス、サウ云フ意味デ

申上ゲマスト、是ハ人件費ト云フ言葉ガ適

當デナイノデアリマスガ、俸給以外ニ勞力

ニ對スル報酬ニナル性質ノモノガ非常ニ多

イト思ヒマス、ソレカラ後ノ御話ノ所謂論

功行賞ノ經費ハ其中ニ入ッテ居リマセヌ、唯

軍人ノ死亡ガアリマシタ場合ニ、戰役ニ關

スル死亡賜金ハ其中ニ入ッテ居リマス、所謂

ルノデアリマスガ、今度ノ四十八億五千万  
圓ノ軍事費ノ中デ、凡ソドノ位ガ人件費ニ  
見積ラレテ居ルノカ、非常ニ難カシトイ思

ヒマスガ、若シ御答出來レバ御答願ヒタイ、

ソレカラ近ク第一回論功行賞ガ行ハレルト

聞イテ居リマスルガ、其所謂恩賞費ト云フ

モノハ此四十八億五千万圓ノ軍事費ノ中ニ

見積ラレテ居ルカドウカ、此點ヲ御伺シタ

行賞ノ賜金、ソレハ其以外デアリマス

○河野委員 一寸速記ヲ止メテ下サイ

〔速記中止〕

○河野委員 次ニ是ハ敢テ大臣カラ御答ヲ

得ナクテモ宜シイノデアリマス、事ノ序デ

アリマスカラ御伺致シマスガ、其中ニ物品

鮮總督府、臺灣總督府、樺太廳ニ於テ今度

稅金ガ新設サレテ居リマスガ、其中ニ物品

稅ト云フノガアリマス、滿洲ニ參リマス分

ニハ輸出ト云フノデ、之ニハ課稅ガ免除ニ

ナッテ居リマスガ、是等ノ所謂外地ニ向ヒマ

ス分ハ輸出デハナイカラ、恐ラク課稅免除

ニナラナイグラウト思ヒマスガ、サウシマ

スト内地ニ於テ物品稅ヲ取ラレタモノガ、

又是等ノ外地ニ於テ物品稅ヲ徵收サレルノ

デアルカドウカ、其間ノ關係ハドウナルノ

カ此一點ヲ御尋致シマス

○松隈政府委員 重複課稅ニハナラヌ立前

ニナッテ居リマス

○河野委員 私ノ質問ハ終リマシタ

止メ、採決セラレントコトヲ望ミマス、質問

打切ノ動議ヲ提出致シマス

○西村委員 只今上程案ノ質問ハ此程度ニ

止メ、採決セラレントコトヲ望ミマス、質問

マスル三案ニ對スル質疑ハ此程度デ打切ノ

動議ガ西村君ヨリ提出サレマシタガ、御異

議アリマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○高橋委員長 質問打切ノ動議ニ御異議ナキモノト認メテ、質問ハ是デ打切りマス、

直ニ討論ニ入リマス——西村君

○西村委員 私ハ民政黨ヲ代表致シマシ

テ、只今切離サレテ議題ニナッテ居ルニ案、

即チ昭和十二年法律第八十四號中改正法律案、關東局、朝鮮總督府、臺灣總督府及樺

太廳ノ各特別會計ニ於ケル租稅收入ノ一部

ニ相當スル金額等ヲ臨時軍事費特別會計ニ

繰入ル、コトニ關スル法律案及ビ昭和十三

年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債追

加發行ニ關スル法律案、右三案ニ對シテ贊成

ノ意ヲ表示致シマス、理由ハ一口ニ申上ダ

レバ時局淘ニ重大デアッテ、國民ノ一部ガ

外地ニ於テ血稅ヲ拂ツテ居ル時、隨テ國民一

般ガ奉公ノ誠ヲ效サナケレバナラヌ時機デ

アリ、本案贊成ガ其誠ヲ效ス所以デアルト

信ズルカラデアル、斯ノ如キ意味ニ於テ本

案ニ贊成スルノデアリマス、併ナガラ只今

十四號中改正法律案即チ支那事變ニ關スル

申シマシタ三案ノ中、昭和十二年法律第八

財源ニ充ツル爲公債追加發行ニ關スル法律

案、之ニ伴ウテ約四十五億五千万圓程ノ公

債ガ發行サレルノデアリマス、本來此公債  
ガ一般ニ消化サレルト致シマシテモ、結局  
國家ノ生產力ヲソレダケ微發スルコトニ相  
成ルノデアリマス、其消化サレナイモノハ

日本銀行ニ引受ケラレ、之ニ依ツテ生ズル通

貨膨脹ニ依ツテ、必ズ惡性「インフレーショ  
ン」ガ起ルノデアリマス、即チ惡性ノ物價

騰貴ヲ招來スルコトハ當然デアルト思ヒマ

ス、既ニ現在原料不足ニ因ツテ物價ガ騰貴

致シテ居ル、是ハ惡性ノ物價騰貴デアリ、

此際ニ、更ニ惡性ノ物價騰貴ヲ生ジテ之ニ

拍車付ケルナラバ、洵ニ經濟界ニ取ツテ由々

シイコトト存ズルノデアリマス、當局ハ

申サレテ居ツタ短期公債竝ニ大藏省證券ヲ

宜シク市場金融ノ緩急ヲ明察シテ、先程モ

シイコトト存ズルノデアリマス、當局ハ

申サレテ居ツタ短期公債竝ニ大藏省證券ヲ

巧ミニ利用シ、通貨ニ過不足ナカラシメ、

物價ヲ調整シ、經濟界ニ惡影響ノナイヤウ

ニ注意ラシテ貰ヒタイノデアリマス、斯ノ

如クシテ無理ヲセズシテ長期公債ニ導キ入

ク其處ニ現レテ居ルト思ヒマス、當局ハ能

シテ質疑應答ノアル中ニ、自ラ本會ノ意思

ト思フノデアリマス、尙ホ此外本三件ニ對

思フ、即チ斯ノ如クシナイ事ヘ却テ外地日  
トハ差別待遇ヲスルニ似テ宜クナイ、漸次  
内外均衡ヲ理想ト致サナケレバ相成ラヌト  
爲シテ居ルノデアリマス、隨テ是等ニ對シ  
テ此内外地ノ負擔ヲ殊更ニ不均衡ニスルコ  
モ何時マデモ新附ノ民デハナクシテ、彼等  
ハ能ク日本ノ國體ヲ諒解シ、今回ノ戰爭ニ  
於テモ、殆ド内地人ト同様、即チ日本固有

ノ大和民族ト同様ナ心懸ヲ持チ、又勵キモ

シテ居ルノデアリマス、隨テ是等ニ對シ

思フ、即チ斯ノ如クシナイ事ヘ却テ外地日

トハ差別待遇ヲスルニ似テ宜クナイ、漸次  
内外均衡ヲ理想ト致サナケレバ相成ラヌト  
爲シテ居ルノデアリマス、隨テ是等ニ對シ

思フ、即チ斯ノ如クシナイ事ヘ却テ外地日

トハ差別待遇ヲスルニ似テ宜クナイ、漸次  
内外均衡ヲ理想ト致サナケレバ相成ラヌト  
爲シテ居ルノ

安定ノ爲ニ必需品ノ騰貴ヲ抑制セラレル方策ニ出ラレンコトヲ望ム者デアリマス、詳

細ノコトハ省略致シマシテ、茲ニ三案ニ贊成スル意思ヲ明ニシタ次第デアリマス

○高橋委員長 玉野君  
○玉野委員 私ハ第一議員俱樂部ヲ代表致シマシテ贊意ヲ表シマス、既ニ各委員カラ色々々ノ御注意御希望モアリマシタカラ私ヨリ申上ゲルコトハアリマセヌ、政府當局ヲ信ジマシテ之ニ贊成スル者デアリマス

○高橋委員長 三木君

○三木委員 私ハ第二控室ヲ代表致シマシテ本案ニ贊成ノ理由ハ申述べル必要モアルマイト存ジマス、唯公債消化ト物價騰貴ノ關係ニ付テ、十分御注意ヲ表スル者デアリマス、時局柄贊成ノ理由ハ申述べ置キタイト云フコトヲ申述べテ贊成ノ意ヲ表シマス

○高橋委員長 馬場君

○馬場委員 私ハ東方會ヲ代表シテ贊成ノ意ヲ表シマス、理由ハ既ニ他ノ諸君カラ申サレマシタ通リデアリマスカラ省略致シマス

○高橋委員長 討論ハ終結致シマシタ、直チニ採決ニ入りマス、只今上程致シテ居リマス三案ニ付テ、本院ニ於テ可決スペキモノト認ム、即チ原案ニ賛成ノ方ノ御起立ヲ

求メマス

(總員起立)

○高橋委員長 起立總員、茲ニ三案ハ本院ニ於テ可決スベキモノト認メルコトニ決定致シマシタ——本日ノ會議ハ此程度ニ止メ

タイト思ヒマス、明日ハ午前十時ヨリ本委員會ヲ當第二委員室ニ開會致シマス、山川君ノ御質疑繼續ノ御希望ハ諒承致シマシタ、成ベク速カナ機會ニ於テ御許シスル心組デアリマスカラ、左様御諒承ヲ願ヒマス、稻田君ノ關聯ノ御質問ガアレバ、是モ亦心得テ置キマス——本日ハ是デ散會致シマス

午後三時十五分散會

昭和十三年三月十一日印刷

昭和十三年三月十二日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局